

平成 21 年度  
事業報告書

学校法人 昭 和 大 学

## はじめに

平成21年度学校法人昭和大学事業報告書をここに上梓いたします。

今年度の事業報告書は、私立学校の管理運営体制や財務情報等に対する社会の関心の高まりに十分応えるために全面的な見直しを行い、平成16年の改正私立学校法の趣旨に沿って、区分を「法人の概要」「事業の概要」「財務の概要」の3つにいたしました。さらに、財務書類の背景となる法人の事業内容をできるだけ分かりやすく説明し、学生・保護者のみならず、一般社会の方々にご理解いただけるよう作成いたしました。

学校法人ならびに医療を取り巻く環境は、厳しさを増すとともに、大きく変化しております。私たちは建学の精神である「至誠一貫」のもと、教育改革や研究の活性化を推進し、高度な医療を提供するとともに、環境の変化に柔軟かつ的確に対応しつつ法人運営に努めてまいりました。

また、理事会直属の委員会である大学・病院活性化推進委員会のもとで、数多くの活性化推進プロジェクトを設置し、大学および病院が抱えるさまざまな課題に取り組んでまいりました。さらに昨年度に答申が示されたプロジェクトについては、それが適切に実行されているかの検証を行い、さらなる改善へとつなげております。

一方、今年度の主要な事業の一つである新豊洲病院整備事業では、豊洲地区における病院整備および運営に関しての協定書を江東区と締結いたしました。これにより江東区南部地域における病院整備事業の事業者が本法人となることが正式に決定いたしました。新豊洲病院は「女性とこどもにやさしい病院」を基本理念に、地域医療の中核的な機能を果たすとともに、優れた医療人を育成する教育病院として、平成25年度中の開院を目指しております。

このほか本法人は、今年度さまざまな事業を展開してまいりました。本報告書が本法人の事業であります教育・研究・診療をご理解いただくための有益な資料となれば幸いです。また、皆様には忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

# 平成21年度学校法人昭和大学事業報告書

## 目 次

### 1. 平成21年度事業計画実施報告

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1. 教育研究の充実           | 1  |
| 1) 総括                | 1  |
| 2) 医学部・医学研究科         | 2  |
| 3) 歯学部・歯学研究科         | 2  |
| 4) 薬学部・薬学研究科         | 3  |
| 5) 保健医療学部・保健医療学研究科   | 4  |
| 6) 富士吉田教育部           | 5  |
| 7) 昭和大学公式ホームページ更改事業  | 5  |
| 8) 研究助成              | 6  |
| 9) 教育研究施設及び設備の整備     | 6  |
| ①富士吉田校舎ユビキタスネットワーク整備 | 6  |
| ②旗の台校舎教室等の整備         | 6  |
| ③洗足校舎教室等の整備          | 6  |
| ④長津田総合運動場施設の整備       | 7  |
| ⑤鏡視下手術トレーニングセンター     | 7  |
| ⑥総合情報管理センター          | 7  |
| 2. 附属学校              | 8  |
| 1) 医学部附属看護専門学校       | 8  |
| 2) 診療放射線専門学校         | 8  |
| 3. 診療施設              | 9  |
| 1) 総括                | 9  |
| 2) 昭和大学病院            | 9  |
| 3) 昭和大学病院附属東病院       | 10 |
| 4) 藤が丘病院             | 10 |
| 5) 藤が丘リハビリテーション病院    | 10 |
| 6) 横浜市北部病院           | 11 |
| 7) 豊洲病院              | 11 |
| 8) 烏山病院              | 11 |
| 9) 豊洲クリニック           | 11 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 10) 歯科病院                | 11 |
| 4. その他の事業               | 13 |
| 1) 活性化推進                | 13 |
| 2) 新豊洲病院整備事業            | 13 |
| 3) 旗の台校舎Cサイト建設基本調査（第2期） | 13 |
| 4) 省エネルギー対策             | 13 |
| 5) 旗の台校舎新講義棟建設          | 14 |
| 6) 本法人近隣地買収計画資産取得       | 14 |

## 2. 法人の概要

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 建学の精神            | 17 |
| 1) 建学の精神            | 17 |
| 2) 昭和大学の教育理念        | 17 |
| 2. 学校法人の沿革          | 17 |
| 3. 学校法人昭和大学組織図      | 19 |
| 4. 設置する学校・学部・学科     | 20 |
| 5. 学校・学部・学科等の学生数の状況 | 20 |
| 6. 役員の概要            | 21 |
| 7. 評議員の概要           | 21 |
| 8. 教職員の概要           | 24 |
| 1) 教員数              | 24 |
| 2) 職員数              | 24 |
| 9. 志願者数、合格者数、入学者数   | 25 |
| 10. 卒業・修了者数         | 25 |

### 3. 事業の概要

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1. 教育活動           | 27 |
| 1) 学部             | 27 |
| ①医学部              | 27 |
| ②歯学部              | 27 |
| ③薬学部              | 28 |
| ④保健医療学部           | 29 |
| 2) 富士吉田教育部        | 29 |
| 3) 大学院            | 30 |
| ①医学研究科            | 30 |
| ②歯学研究科            | 30 |
| ③薬学研究科            | 31 |
| ④保健医療学研究科         | 31 |
| 4) G P 事業（大学院G P） | 31 |
| 5) F D 活動         | 32 |
| ①医学部              | 32 |
| ②歯学部              | 32 |
| ③薬学部              | 33 |
| ④保健医療学部           | 33 |
| ⑤富士吉田教育部          | 33 |
| 6) 医学部附属看護専門学校    | 34 |
| 7) 診療放射線専門学校      | 34 |
| 2. 研究活動           | 35 |
| 1) 学部・大学院         | 35 |
| ①医学部・医学研究科        | 35 |
| ②歯学部・歯学研究科        | 35 |
| ③薬学部・薬学研究科        | 35 |
| ④保健医療学部・保健医療学研究科  | 36 |
| 2) 研究所・共同施設       | 36 |
| ①腫瘍分子生物學研究所       | 36 |
| ②動物実験施設           | 37 |
| ③1号館RI共同研究室       | 37 |
| ④遺伝子組換え実験室        | 37 |
| ⑤基礎電子顕微鏡室         | 38 |
| 3. 学生支援活動         | 39 |
| 1) 奨学金            | 39 |

|                      |    |
|----------------------|----|
| 2) キャリア支援            | 39 |
| 3) 健康管理              | 39 |
| 4) その他               | 40 |
| 4. 国際交流              | 41 |
| 1) 学生の海外の大学における実習・研修 | 41 |
| 2) 交流協定の締結状況         | 41 |
| 3) 教員の海外留学、海外出張      | 42 |
| 4) 外国人研修生・研究生の受け入れ   | 43 |
| 5. 地域連携              | 45 |
| 1) 公開講座              | 45 |
| ①旗の台キャンパス            | 45 |
| ②富士吉田キャンパス           | 45 |
| ③横浜キャンパス             | 46 |
| ④藤が丘病院               | 46 |
| ⑤藤が丘リハビリテーション病院      | 46 |
| ⑥横浜市北部病院             | 47 |
| ⑦豊洲病院・豊洲クリニック        | 47 |
| ⑧烏山病院                | 47 |
| ⑨歯科病院                | 47 |
| 6. 施設設備の整備状況         | 48 |
| 1) 施設整備              | 48 |
| 2) 設備整備              | 49 |
| 3) 図書の整備             | 50 |

## 4. 財務の概要

|             |    |
|-------------|----|
| 1. 決算の概要    | 51 |
| 1) 貸借対照表の状況 | 51 |
| 2) 収支計算書の状況 | 51 |
| 2. 経年比較     | 53 |
| 1) 貸借対照表    | 53 |
| 2) 収支計算書    | 54 |
| ア) 資金収支計算書  | 54 |
| イ) 消費収支計算書  | 55 |

|                        |    |
|------------------------|----|
| 3. 主な財務比率比較 .....      | 56 |
| 4. その他 .....           | 57 |
| 1) 借入金の状況 .....        | 57 |
| 2) 学校債の状況 .....        | 57 |
| 3) 寄付金の状況 .....        | 57 |
| 4) 補助金の状況 .....        | 58 |
| 5) 関連当事者等との取引の状況 ..... | 58 |
| ア) 関連当事者 .....         | 58 |
| イ) 出資会社 .....          | 58 |

## 1. 平成21年度事業計画実施報告

### 1. 教育研究の充実

#### 1) 総括

今年度は、学部を超えた4学部連携の問題解決型少人数教育を、4年次学生に対して旗の台・横浜両キャンパスで実施した。また、文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」に、4学部を擁する本学ならではの「チーム医療を実現する体系的学士課程の構築」が選定され、今年度は一部の病棟で4学部の学生がチームを組み、実践的な実習を行った。

学生の満足度を高める環境を提供するため、2年次以上の学生全員を対象に学生意識調査を実施し、また、学生の進路・就職活動を支援するために、昨年度設置したキャリア支援室では、各分野の講師を招き「キャリア向上のための教育講演会」を5回にわたり催すとともに、企業説明会も開催した。

優秀な学生の確保のため、今年度も地方入試を実施し、進学相談会、オープンキャンパス、高校訪問等の大学・入試広報を積極的に展開した結果、昨年度より多くの参加者を得ることができた。受験生への相談体制も強化し、4学部合同のオープンキャンパスでは、多くの受験希望者が来場した。

教育活動では、医学部・歯学部は、文部科学省「戦略的大学連携支援事業」を各連携大学とともに、より具体的な形で推進した。薬学部も同事業が選定され、他大学との連携に力を注いだ。また、産科領域における助産師の社会的ニーズが増加していることに対応するため、学部教育修了者を対象とした昭和大学助産学専攻科の設置を平成22年度に申請することとし、そのための準備を行った。

大学院のさらなる充実を図り、教育・研究の高度化と学術および科学技術の発展に寄与することを目的とした連携大学院の第一歩として、国立感染症研究所との教育研究の連携・協力に関する協定書締結の進捗を図った。大学院保健医療学研究科においては、博士課程の設置を平成22年度に申請することとし、そのための準備を行った。

研究活動では、大学活性化推進プロジェクトの答申に基づき、研究推進室設置に伴う規程の整備を行い、平成22年度以降の研究活動を活性化する基盤を整備した。さらに、文部科学省大学改革推進事業として採択された「人体機能再生のイノベーション創出の支援整備事業」プロジェクトにより、再生医療教育研究の拠点構築を図った。

## 1. 事業計画実施報告

自己点検・評価活動では、平成20年度に日本高等教育評価機構の認定を受けた評価内容や改善・向上方策をベースに、毎年度自己点検評価を実施していくこととし、その準備を行った。

ほかにも、各学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成、実施の方針）、ディプロマポリシー（学位授与の方針・卒業時の達成目標）を制定し、教育方針をより具体的に学内外へ示した。

## 2) 医学部・医学研究科

### ①教育

現教育カリキュラムスケジュールが過密状態であるため、医学部教育委員会は今年度、他のユニットと重複や統合できる科目等の見直しを行った。

入試においては、地域別選抜試験が2年目を迎え、さまざまな地域の学生が刺激し合い学ぶ教育基盤が整備された。

今年度から1年次の早期体験実習は学部連携実習となり、3年次地域医療実習はカリキュラムの運用の見直しを行い、より充実した地域医療カリキュラムが体系化された。

医学研究科では、在学期間の短縮、入学前単位認定、全研究科での共通科目の導入等の学則変更に伴い、医学研究科履修要項の見直し、運用方法の整備を行った。

### ②研究

競争的資金の獲得強化を実現するためには、より多くの申請が必要であることから、医学研究科委員会は教室別申請統計を基に申請増加活動を行った。

また、今年度は全教職員を対象に「これからの臨床研究の在り方」をテーマとする「昭和大学科研費申請促進セミナー」を6回開催した。

### ③卒後教育

昭和大学病院の研修プログラムについて見直しを図り、マッチ率が向上した。また、研修医を指導する指導医の講習会を2回開催し、指導医の質のさらなる向上を図った。

## 3) 歯学部・歯学研究科

### ①教育

歯学部では、臨床実習の到達度を明確にするため、今年度より臨床実習終了時OSCEを新たに実施して臨床能力の評価を行い、習熟度の低い学生への対応としてはチューターによる補習を時期に応じて行った。また、コミュニケーション教育の充実のためにSPによる医療面接や病棟実習をカリキュラムに取り入れ実施した。教員の教育力増進のために、ワークショップの開催とともに、「同僚評価」を正式に実施した。学生の国際交流についても研修先の幅を広げた。

歯学研究科では、大学院生が専攻主科目以外の多彩分野を学習できるよう、分野内での他講座開設科目を受講できる体制を整えた。また、南カリフォルニア大学など本学歯学部の海外交流校との間で、大学院生の共同研究を推進し、その一部は英文学術雑誌に公開された。

### ②研究

平成17年度から始まった文部科学省補助事業ハイテクリサーチ研究「顎口腔機能障害の発症機序究明とその機能回復に関する先進的研究」は、今年度がプロジェクト最終年度となり、研究成果発表会を開催し最終報告書を作成した。

### ③卒後教育

卒後臨床研修の改訂プログラムも2年が経過し、各学外研修施設あるいは各学内研修コースでの長期間（6カ月）研修と、評価シート、症例数報告書による研修評価が定着した。多くの研修医から、自己研鑽の目標と進捗状況を把握しながら着実に研修に取り組めたとの評価を得ることができた。また、今年度も歯科医療研修振興財団との共催で全国規模の臨床研修指導歯科医養成ワークショップを開催した。

## 4) 薬学部・薬学研究科

### ①教育

平成18年度にスタートした6年制薬学教育は4年目を迎え、薬学教育検証プロジェクトの答申をもとに、4年次では、学生が自ら問題を発見し、解決能力を醸成する「総合薬学研究（1）」を薬学部各教室および医学部受け入れ教室の協力の下に開講した。さらに、平成22年度からの5年次長期実務実習（病院・薬局）に備えて「病院薬剤学講座」を設置して教育体制の整備を図った。また、実務実習を前に4年次新規科目として「実務実習事前学習」を開講するとともに、薬学共用試験（CBT・OSCE）を今年度初めて実

## 1. 事業計画実施報告

施した。また、「薬学教育（6年制）第三者評価」の評価基準に基づいて自己点検・評価を実施した。

薬学研究科では、4年制博士課程設置に向けて検討作業部会（ワーキング委員会）を設置して、教育カリキュラムの骨格を構築し、設置準備のための内容検討を進めてきた。また、大学初年次に行われる化学実習および4年次の実務実習事前学習に薬学研究科の大学院生48名をTA（ティーチング・アシスタント）として採用した。

### ②研究

平成17年度から始まった文部科学省補助事業ハイテクリサーチ研究「薬物・毒物中毒の先端的研究の基盤構築とトキシコインフォマティクスに基づく治療への応用」は、今年度が最終年度となり3月11日に研究成果報告会を開催した。

また、平成19年度に採択された文部科学省大学院教育改革支援プログラム「薬剤師のための薬学的臨床研究能力プログラム」は、6年制薬学教育を基礎とする新しい4年制博士課程の大学院薬学研究科教育プログラム構築を目的に3年間取り組んできた。国際交流活動、セミナー開催、ワークショップによるカリキュラム構築など今年度の活動成果を含めた3年間の成果について、他学部および学外委員による第三者評価委員会で本事業の活動状況に対する評価を受けた。

## 5) 保健医療学部・保健医療学研究科

### ①教育

看護学科では、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、今年度入学者から適用される新カリキュラムと現行のカリキュラムを適切に運用した。学部助産師課程の教育において、初めての修了者10名を輩出した。また、平成22年度に予定している昭和大学助産学専攻科設置申請にあたり、学部としてその協力体制を整備した。

理学療法学科および作業療法学科では、臨床実習に対する指導体制を充実させ、多角的な指導が行える体制を整備し、さらに卒後教育セミナーを開催した。

フィリピン大学と学部間協定を締結し、教育・研究における交流を開始した。保健医療学部ワークショップおよび昭和大学病院・附属病院看護部との合同ワークショップを開催し、FDを積極的に推進することにより教育システムの充実を図った。

保健医療学研究科では、高い専門性に基づく臨床実践および臨床研究でリーダーシップを発揮し、チーム医療を推進できる人材を育成し、12人の修士を輩出した。また、平成23年度大学院保健医療学研究科博士後期課程開設に向け、設置認可申請準備を行った。

### ②研究

教員個々の研究活動の推進と充実を図り、外部の研究費獲得に努めた。また、学科の枠にとらわれない研究活動を推進し、研究活動報告会を開催するとともに昭和大学保健医療学雑誌を発行した。さらに、共同研究を推進し、昭和大学共同研究に加えて、他大学との共同研究の検討に入った。このほか、作業療法学会を今年度初めて開催した。

## 6) 富士吉田教育部

### ①教育

富士吉田教育部では、専門領域につながる基礎学力の修得、自ら問題を発見し、それを解決する意欲と能力の向上を達成し得る教育内容の拡充のためにカリキュラムの改定を実施した。今年度は新規カリキュラムのうち、学部連携教育として「医療人のためのヒューマニズム教育」「コミュニケーション教育」を導入した。また、医療人教育、専門科目への導入教育の一つとして「総合サイエンス臨床実習入門」を導入した。これにより、学習者の実習に対する意識の向上、重要性の認識を高めることができた。

早期体験実習に関しては、これまで学部単位で行ってきた早期体験実習を本学が目指す“チーム医療実践者の養成”をより完成度の高いものとするために、学部連携型の実習を一部変更し、病院体験実習、施設体験実習を4学部混合グループで実施した。施設・病院体験実習を学部連携型で実施したことにより、チーム医療の重要性、自身の位置、果たすべき役割、共に協力し合い、学ぶ姿勢の重要性を実感させることができた。

## 7) 昭和大学公式ホームページ更改事業

大学公式ホームページ更改事業は、今年度からの2か年で実施する計画であったが、デザインやコンテンツだけでなく管理運営体制を含めた抜本的な見直しを行う必要があると判断したため、今年度は大学活性化推進委員会のプロジェクトの一つとして大学ホームページのあり方を検討した。

その結果、管理運営体制の確立、デザインの統一、コンテンツの充実の3つを柱に、大学と多様な訪問者とのコミュニケーションツールになり得るホ

## 1. 事業計画実施報告

ホームページを平成22年度からの2か年計画で構築することとした。

### 8) 研究助成

今年度は競争的研究資金として、私立大学等経常費補助金の特別補助である「研究科特別経費」、「昭和大学共同研究費」、「戦略的研究基盤形成支援経費(旧ハイテクリサーチセンター研究経費)」、「教育学習方法改善支援経費」、および「新規学習ニーズ研究費」等が継続交付された。

文部科学省および厚生労働省の科学研究費補助金の申請は、昨年度を超える件数となった。ほかにも科学技術振興調整費、若手研究者等海外派遣事業への応募など、意欲的な取り組みがなされた。

文部科学省の公募による支援事業では、「周産期医療整備事業」、「大学病院業務改善計画事業」、「大学教育改革推進支援事業」、「キャリア支援事業」、および「教育研究高度化のための支援体制整備事業」等が採択となった。3年から5年の継続事業も含まれており、充実した教育研究環境が整った。

そのほか、「大学連携支援事業」、「大学病院連携支援事業」についても、昨年度から引き続き連携分担校として積極的に取り組んだ。

### 9) 教育研究施設及び設備の整備

#### ①富士吉田校舎ユビキタスネットワーク整備

富士吉田校舎ユビキタスネットワーク整備として、今年度は未整備となっていた1号館の各教室、各寮1階部分および部室棟などに無線アクセスポイントを20台設置した。このことにより学生の学習環境が向上した。

#### ②旗の台校舎教室等の整備

教育環境改善を目標に改修工事を実施した。1号館については屋上遮熱塗装工事、4号館では「平成21年度エコキャンパス推進事業」として、2～6階の講義室南側窓の防音・遮熱工事（二重サッシ化）など学生の学習環境向上に努めた。

また、安全確保のため4・5号館の耐震診断、10号館（学生会館）の屋上防水工事を実施、その他1号館PBL教室の床改修工事、3号館トイレ改修工事を実施した。

#### ③洗足校舎教室等の整備

歯科病院地下1階臨床技能研修室（スキルスラボ）に、スキルスラボ実習台（シミュレータ4台）の増設等の設備整備を行った。これにより、歯

学部では全国初となる臨床実習終了時OSCEを実施することができた。

④長津田総合運動場施設の整備

長津田総合運動場施設整備事業は3か年計画の2年目として、体育館耐震補強工事のための耐震設計を実施した。

⑤鏡視下手術トレーニングセンター

茨城県小美玉市に医療法人幕内会との共同で、鏡視下手術トレーニングセンター（昭和大学・山王台病院医療技術内視鏡手術トレーニングセンター＝S-TEC）を平成21年12月にオープンした。平成22年度から研修医や学生の教育に活用される。

⑥総合情報管理センター

旗の台キャンパスネットワーク整備では、経年使用により老朽化が進んでいる1・2・3号館と10号館の一部のネットワーク機器の更新を実施した。また、1号館各階PBL教室の無線LAN環境整備や5号館5・6階実習室にはバーチャル顕微鏡システムに対応したLAN環境を整備した。さらに、ネットワーク利用時における個人認証実施対象施設を拡大し、学内ネットワークの充実と情報セキュリティの強化を図った。

## 1. 事業計画実施報告

## 2. 附属学校

### 1) 医学部附属看護専門学校

#### ①学生の受け入れ

平成22年度からの入学定員増（100名→150名）に向け、全教員が1人3校以上の高校訪問を実施し、志願者数が倍増するなど受験生確保の実績を上げた。また、オープンキャンパスや学校説明会の内容を工夫し、受験生のニーズに対応した。入学試験では、推薦入学試験に指定校制度を導入し32校を指定校とした。

#### ②教育

学力の向上を図るために、入学時から個別指導を実施し効果を上げた。

臨地実習では、横浜市北部病院で母性看護学および小児看護学の実習を開始し、1グループの学生数を10人以下とすることにより、効果的な実習とすることができた。

#### ③その他

医学部との連携により、潜在看護師の研修を実施し、その復職を支援した。

### 2) 診療放射線専門学校

#### ①教育

個々の学生の学力向上を図るため、教育内容の一層の充実と学習指導の強化を徹底した。

#### ②その他

平成20年度入学者の卒業をもって、診療放射線専門学校は廃止となるため、今年度から学生募集を停止した。

### 3. 診療施設

#### 1) 総括

平成21年度は、病院活性化推進委員会の諮問による横浜3病院機能再編成検討プロジェクトの答申に基づき、藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院、横浜市北部病院の診療部門組織の再編成を実施に移した。また、平成20年度の活性化推進委員会で提案された種々のプロジェクトの実施に関して検証の作業を行う中で、急性期医療を提供する地域中核病院として地域医療連携等の強化を図った。また、引き続き質の高い医療の実践と医療安全体制の充実に努めた。

中央材料購入委員会が主導したカテーテル、ペースメーカー、眼内レンズ等の法人統一化購入の実施やシリンジポンプ、輸液ポンプの統一化など、医療材料購入の効率化を推進した。

一方、教育病院として学生実習や卒後臨床研修をはじめ優れた医療人の育成に力を注ぎ、高度医療に対応できる臨床薬剤師業務とチーム医療を実践できる薬剤師の養成を図るために、附属病院に薬剤師レジデント制度を平成22年度に設置することとした。

小児科・産婦人科・麻酔科教員の確保を重点課題として、今年度はこの3科に特別枠を増設するとともに、労働環境の改善のため非常勤臨床女子医師雇用制度を創設した。

新型インフルエンザ（豚インフルエンザ）については、行政当局と連絡を密にし、大学病院として相応しい対応を行いその使命を果たした。

#### 2) 昭和大学病院

今年度は、病院活性化推進委員会の答申に基づく理事会決定に則り、地域医療連携型急性期病院として、入退院管理および病棟管理の一元化等により患者の受入れを円滑にするなど地域医療連携の更なる推進に努めた。また、小児科、小児外科を中心に、関係各診療科が病棟で連携する小児医療センターを開設し、今後のセンター化への準備を整えたほか、NICUや化学療法センターの拡充を行い、治療環境の整備を図った。

事業計画の内、ER病棟設置事業については、ブレストセンター設置構想を優先し、計画の実施を平成22年度に先送りして実施することとした。ブレストセンター設置事業は、様々な要因から増え続けている乳がん患者の診断と治療を専門的に、効率よく行える先進的なセンターとして、平成22年度の開設を目標に検討を重ねた。

一方、経費削減として中央医療材料や中央薬品の購入並びに医療機器等の

## 1. 事業計画実施報告

購入に当たっては、関連委員会と密に連携して計画的購入を進め、効率よく削減を進めることができた。施設設備の整備については、看護師寮の改修、中央棟のヒートポンプ等の更新など環境改善と設備機器維持を図った。特に、入院棟のファンコイル4管式化改修により効率良い空調システムに改め、患者のニーズや地球温暖化対策にも配慮した。

その他特記すべき事項として、がん診療連携拠点病院の指定や東京都母胎救命搬送システム事業の受入れ、日本医療機能評価機構更新審査の保留なしの認定など、社会的ニーズに応えた高機能医療機関としての立場を改めて明確にした。

### 3) 昭和大学病院附属東病院

今年度は、昭和大学病院の後方病院としての役割の推進のため、平成19年度のペインクリニックの移転に続く継続事業を計画・実施する予定であったが、昭和大学病院のブレストセンター設置計画を踏まえこれを中止した。

入院基本料7対1看護を堅持し医療安全、患者サービスに努めるとともに、DPC（入院診断群分類別包括評価制度）入院料の導入など効率良い医療を求めて実践してきた。今後は、医療収入の面から、また設備整備面からも、昭和大学病院の診療科センター化や診察ブース再編計画と併せて総合的な見直しを図り、引き続き効率的な運営を実践していく。

### 4) 藤が丘病院

平成21年4月から総合相談センターを開設し、各診療科の外来初診枠見直しを行った。地域医師会と連携協力医制度を導入し、初診患者確保と地域連携（紹介、返送、逆紹介）の強化を図った。

一方、診療科のセンター化（呼吸器・循環器）の整備を行い、リハビリテーション病院との機能連携を推進した。これにより、両院の効率的な診療体制が整備された。また、入院基本料の見直しを実施し、平成22年2月から入院基本料7対1看護とし、患者サービスの向上を図った。

### 5) 藤が丘リハビリテーション病院

今年度は、病院活性化推進委員会の答申に基づき、藤が丘病院との手術室運用合理化プロジェクトの検討結果に合わせて連携体制を強化した。より合理的な手術枠の活用と患者受け入れを図るため、藤が丘病院で実施していた眼科手術を当院に移設した。これに伴い、当院で実施していた整形外科手術を藤が丘病院で実施することとした。

## 6) 横浜市北部病院

今年度は、地域中核病院として地域医療機関と連携し、地域における急性期医療へ積極的に参加した。特に新型インフルエンザへの対応については、関係機関と協力し発生から終息まで市内の医療機関の中心的な役割を果たした。

設備・機器については、開院より9年が経過し機器の更新時期を迎え、中長期計画に則り更新を進めている。今年度は、安全な医療の提供を第一に周産期システム、ベッドサイドモニターを更新した。また、当院の各種電算システムは経年劣化により、処理速度が低下し、これが業務の効率を悪化させ、最終的に患者サービスに影響を与えていることから、診療費自動精算システム、電子カルテネットワーク機器を優先して更新した。

## 7) 豊洲病院

地域の中核医療機関として、今年度も診療体制の整備と診療内容の充実を図った。また、院内完結医療から地域内完結医療への転換を目指し、「かかりつけ医制度」を積極的に推進した。

## 8) 烏山病院

当院C4病棟を、個室を主とした特別病棟として平成21年4月にオープンし、幅広い患者層が利用可能となった。

また、慢性期から急性期への移行強化について、すべての病棟で機能の再編を検討し、慢性期患者の計画的退院促進を実施するとともに、スタッフの適正配置による効果的かつ効率的医療が行える医療環境整備を図った。

外来部門に関しては、発達障害の外来患者が増加したことから、専門外来枠を増設し、併せて、隔週土曜日にショートケアを新設し、診療の充実を図った。

## 9) 豊洲クリニック

豊洲病院との連携を強化するとともに、今年度は小児科予防接種、婦人科子宮癌検診業務の拡大により、クリニックとしての特性を活かした診療体制を整え、地域住民のニーズに対応した。

## 10) 歯科病院

地域医療連携を強化するため、4階の診療スペースを改修し、総合歯科を開設した。

## 1. 事業計画実施報告

また、徹底した合理化を目指し、院内物流管理の一元化のためSPDを導入し、定数配置や無在庫方式を採用した。過剰在庫の一扫や医療材料の無駄を省くとともに歯科衛生士や看護師の業務の省力化を図り、本来の専門業務に集中できる環境を整えた。

## 4. その他の事業

### 1) 活性化推進

今年度は、大学活性化推進プロジェクトとして7つのプロジェクト（シラバス検討、医学部新カリキュラム検証、ホームページあり方検討、研究推進室設置検討、研究促進制度検討、省エネ対策検討、大学院学内単位互換検討）を、また、病院活性化推進プロジェクトとして4つのプロジェクト（治験支援センター一元化、医師学外研修配置検討、横浜3病院機能再編検討、病院活性化推進プロジェクト検証）を設置した。各プロジェクトとも活発な議論のもと、その答申案が理事会に提出され実施に移されることとなった。

### 2) 新豊洲病院整備事業

平成21年3月に江東区が公表した「南部地域における病院整備の基本方針」による新病院の事業主体の誘致について、本法人は既存病院の移転新築による医療機能の拡充と教育環境の整備に関する計画を江東区に提案。協議の結果、同年6月に本法人が事業予定者として指名を受けた。7月より病院の規模や機能に関する検討を開始し基本計画を策定。11月には建設予定地の地区計画の変更に係わる都市計画法の手続きを行った。その後、誘致に関する諸条件について江東区と調整を重ねた結果、平成22年3月31日に「豊洲地区における病院整備及び運営に関する協定書」の調印を両者間で行った。これにより本法人は、正式な新病院の事業者として開設の準備と運営を担当することとなった。

### 3) 旗の台校舎Cサイト建設基本調査（第2期）

今年度もCサイト学務実務者委員会を継続して開催し、講義室、実習室、C-Bサイト間連絡通路、歯科部門、新講堂、ロッカー室などについて調査を行った。

### 4) 省エネルギー対策

今年度から省エネ対策検討プロジェクトを発足させ、省エネ・地球環境改善活動として全学を挙げてクールビズを6月より実施した。室内設定温度28℃、不要な室内照明と空調運転の停止を徹底させるため、省エネパトロールを実施し、全職員に対し省エネの啓蒙に努めた結果、大幅なコスト削減を図ることができた。

さらに、1号館1階の網戸設置工事、1号館屋上の遮熱塗装工事、4号館講義室の窓二重サッシ工事など、省エネ対策を考慮した工事を実施した。

## 1. 事業計画実施報告

### 5) 旗の台校舎新講義棟建設

薬学部6年制移行および、医学部附属看護専門学校の定員増に伴う教室数不足のため、(仮称)講義棟の建築計画の策定を行った。

今年度は、基本設計の作成と近隣住民説明を行い、大筋の合意が得られたため、平成22年度に着工し、平成23年9月供用開始を予定している。

### 6) 本法人近隣地買収計画資産取得

本法人の中長期計画を見据え、近隣地の買収を実施した。

#### 【資産取得】

##### 1. 校地

|                             |                                                              |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 大学10号館隣地<br>旧大塚邸            |                                                              |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 品川区旗の台一丁目<br>1022番4 他1筆<br>宅地<br>231.17㎡<br>平成21年6月11日 売買取得  |
| 長津田校舎隣地<br>市有地払い下げ          |                                                              |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 横浜市緑区十日市場町字後谷<br>2714番4<br>用悪水路<br>68.20㎡<br>平成21年8月12日 売買取得 |
| 旗の台一丁目物件<br>現TSUTAYA        |                                                              |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 品川区旗の台一丁目<br>164番3 他4筆<br>宅地<br>2,642.27㎡<br>平成21年9月30日 売買取得 |
| 富士吉田校舎隣地                    |                                                              |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 富士吉田市松山字中原<br>1454 他9筆<br>山林<br>18,677㎡<br>平成21年11月18日 売買取得  |
| 豊洲五丁目物件                     |                                                              |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 江東区豊洲五丁目<br>2番10<br>宅地<br>3,268.29㎡<br>平成21年12月25日 売買取得      |

## 1. 事業計画実施報告

|                             |                                                        |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------|
| 富士吉田校舎隣地                    |                                                        |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 富士吉田市上吉田字熊穴<br>4442番3<br>山林<br>264㎡<br>平成22年3月19日 売買取得 |

## 2. 校舎

|                           |                                                    |
|---------------------------|----------------------------------------------------|
| 旗の台一丁目物件<br>現TSUTAYA      |                                                    |
| 所在地<br>家屋番号<br>延床面積<br>原因 | 品川区旗の台一丁目<br>164番6<br>1,170.69㎡<br>平成21年9月30日 売買取得 |

## 【資産売却】

### 1. 校地

|                             |                                                           |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 旗の台六丁目<br>駐車場               |                                                           |
| 所在地<br>地番<br>地目<br>地積<br>原因 | 品川区旗の台六丁目<br>1055番27 他1筆<br>宅地<br>165.5㎡<br>平成21年6月11日 売却 |

## 1. 事業計画実施報告

## 2. 法人の概要

### 1. 建学の精神

#### 1) 建学の精神

「国民の健康に親身になって尽くせる優れた臨床医家を養成する」が建学の精神である。これが何事にもまごころをもって尽くす「至誠一貫」の言葉で受け継がれている。

#### 2) 昭和大学の教育理念

他に類のない医系総合大学の特徴を生かし、専門領域の高度な知識と技能を身につけるとともに、学部の枠を越えてともに学び、互いに理解し合え、協力できる人材を育成する。そして、その専門職にふさわしい人間性豊かな医療が実践できるような、高い倫理性と豊かな社会性を備え、生涯にわたって学習・研究を怠らず医療の向上に邁進する、真の医療人たりうる資質を磨き上げる。

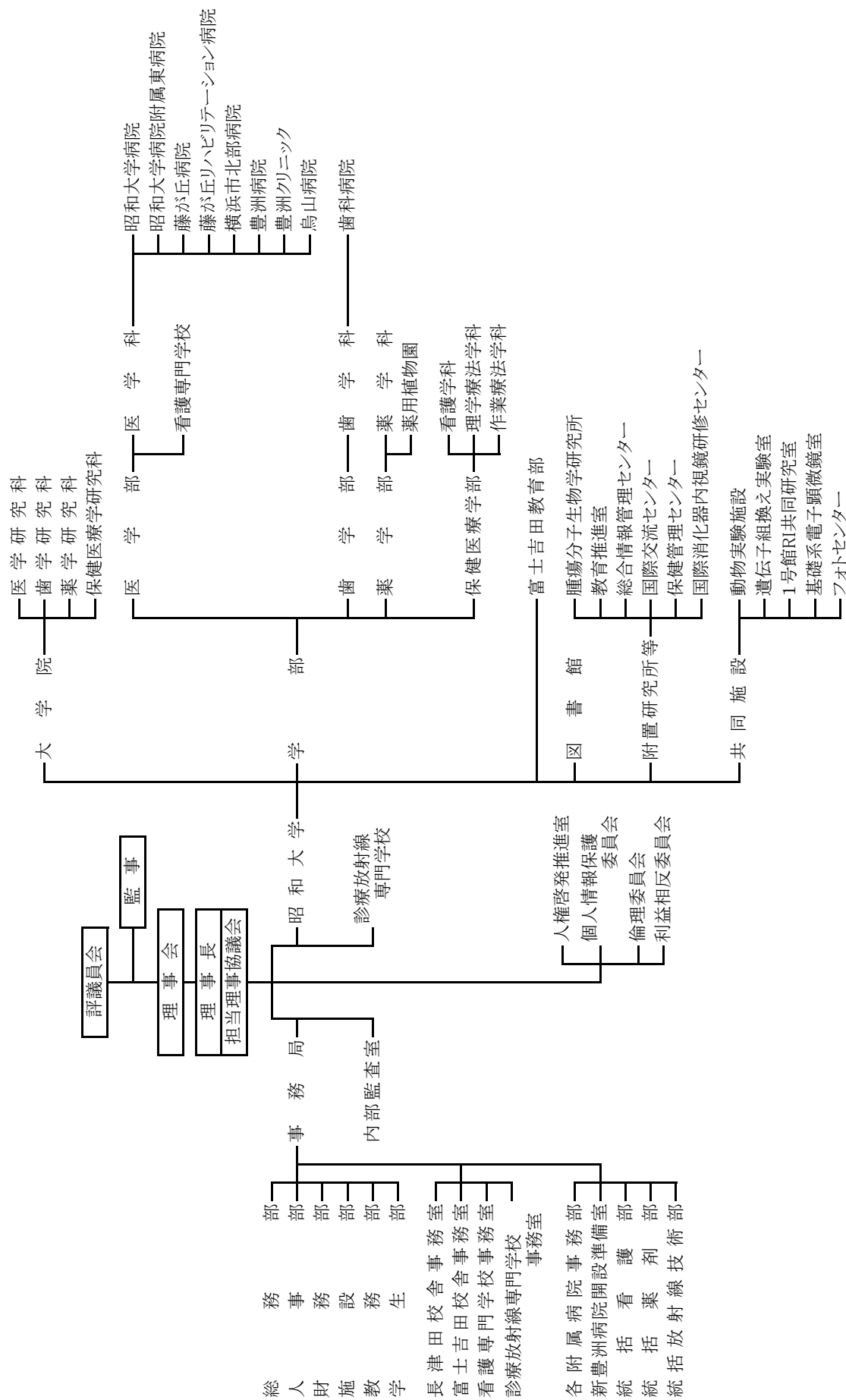
## 2. 学校法人の沿革

|                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 昭和3(1928)年3月   | 財団法人昭和医学専門学校設置認可            |
| 5月             | 医学専門学校附属医院開院（現在の昭和大学病院）     |
| 昭和6(1931)年8月   | 附属産婆看護婦講習所設置可               |
| 昭和21(1946)年4月  | 財団法人昭和医科大学設置認可（大学令による医科大学）  |
| 昭和26(1951)年2月  | 財団法人から学校法人に組織変更             |
| 7月             | 烏山病院開院                      |
| 昭和27(1952)年2月  | 昭和医科大学医学科（専門課程）設置（学校教育法による） |
| 昭和34(1959)年3月  | 大学院医学研究科（博士課程）設置認可          |
| 昭和39(1964)年3月  | 昭和大学に名称変更                   |
|                | 薬学部薬学科設置認可                  |
|                | 医学部附属高等看護学校設置認可             |
| 昭和40(1965)年4月  | 富士吉田校舎開設                    |
| 昭和41(1966)年12月 | 薬学部生物薬学科設置認可                |
| 昭和44(1969)年3月  | 大学院薬学研究科（修士課程）設置認可          |

## 2. 法人の概要

|                |                                                   |
|----------------|---------------------------------------------------|
| 昭和47(1972)年12月 | 昭和大学附属烏山病院高等看護学校設置認可                              |
| 昭和49(1974)年3月  | 大学院薬学研究科（博士課程）設置認可                                |
| 昭和50(1975)年7月  | 昭和大学附属烏山病院高等看護学校第二看護学科設置認可<br>藤が丘病院開院             |
| 昭和51(1976)年9月  | 昭和大学附属烏山高等看護学校<br>第一・第二看護学科設置認可（専修学校に切替）          |
| 昭和52(1977)年1月  | 歯学部歯学科設置認可                                        |
| 6月             | 歯科病院開院                                            |
| 昭和53(1978)年11月 | 医学部附属看護専門学校設置認可（専修学校に切替）                          |
| 昭和57(1982)年6月  | 豊洲病院開院                                            |
| 昭和58(1983)年3月  | 大学院歯学研究科（博士課程）設置認可                                |
| 平成2(1990)年6月   | 藤が丘リハビリテーション病院開院                                  |
| 平成6(1994)年4月   | 昭和大学附属烏山看護専門学校と名称変更                               |
| 平成8(1996)年3月   | 昭和大学附属秋田外科病院廃止                                    |
| 12月            | 昭和大学医療短期大学設置認可                                    |
| 平成9(1997)年1月   | 昭和大学腫瘍分子生物學研究所開設                                  |
| 12月            | 大学院薬学研究科薬学専攻・医療薬学専攻設置認可<br>博士課程（前期・後期）            |
| 平成11(1999)年4月  | 昭和大学病院附属東病院開院                                     |
| 平成13(2001)年2月  | 診療放射線専門学校設置認可                                     |
| 4月             | 横浜市北部病院開院                                         |
| 12月            | 昭和大学保健医療学部設置認可                                    |
| 平成17(2005)年5月  | 昭和大学医療短期大学廃止                                      |
| 9月             | 保健医療学部看護学科助産師学校指定                                 |
| 平成18(2006)年4月  | 教養部を改組し富士吉田教育部設置<br>薬学部6年制教育開始に伴い薬学科、生物薬学科を薬学科に改組 |
| 11月            | 豊洲クリニック開院                                         |
| 11月            | 大学院保健医療学研究科（修士課程）設置認可                             |

### 3. 学校法人昭和大学組織図（平成22年3月31日現在）



## 2. 法人の概要

## 4. 設置する学校・学部・学科

| 設置する学校      | 開校年月      | 学部・学科等            | 摘 要               |
|-------------|-----------|-------------------|-------------------|
| 昭 和 大 学     | 昭和27年 4 月 | 医学部・医学科           |                   |
|             | 昭和52年 4 月 | 歯学部・歯学科           |                   |
|             | 昭和39年 4 月 | 薬学部・薬学科           | 平成18年4月、6年制薬学科に改組 |
|             | 昭和42年 4 月 | 薬学部・生物薬学科         |                   |
|             | 平成14年 4 月 | 保健医療学部・看護学科       |                   |
|             | 平成14年 4 月 | 保健医療学部・理学療法学科     |                   |
|             | 平成14年 4 月 | 保健医療学部・作業療法学科     |                   |
|             | 昭和34年 4 月 | 大学院医学研究科(博士課程)    |                   |
|             | 昭和58年 4 月 | 大学院歯学研究科(博士課程)    |                   |
|             | 昭和44年 4 月 | 大学院薬学研究科(博士前期課程)  | 平成10年4月、修士課程を改組   |
|             | 昭和49年 4 月 | 大学院薬学研究科(博士後期課程)  | 平成10年4月、博士課程を改組   |
|             | 平成19年 4 月 | 大学院保健医療学研究科(修士課程) |                   |
| 医学部附属看護専門学校 | 昭和39年 4 月 | 看護学科              |                   |
| 診療放射線専門学校   | 平成13年 4 月 | 診療放射線学科           | 平成21年度募集停止        |

## 5. 学校・学部・学科等の学生数の状況 (平成21年 5 月 1 日現在)

| 学部・学校名      |              |         | 入学定員数 | 収容定員数 | 現員数   | 摘要         |
|-------------|--------------|---------|-------|-------|-------|------------|
| 学 部         | 医学部          | 医学科     | 120   | 720   | 713   |            |
|             | 歯学部          | 歯学科     | 105   | 630   | 608   |            |
|             | 薬学部(4年制)     | 薬学科     |       |       | 23    | 平成18年度募集停止 |
|             |              | 生物薬学科   |       |       | 14    |            |
|             | 薬学部(6年制)     | 薬学科     | 200   | 1,200 | 796   |            |
|             | 保健医療学部       | 看護学科    | 95    | 400   | 453   |            |
|             |              | ※3年次編入学 | 10    |       |       |            |
|             |              | 理学療法学科  | 30    | 120   | 139   |            |
|             |              | 作業療法学科  | 30    | 120   | 139   |            |
|             | 学部合計         |         |       |       | 2,885 |            |
| 大 学 院       | 医学研究科        |         | 60    | 240   | 228   |            |
|             | 歯学研究科        |         | 18    | 72    | 107   |            |
|             | 薬学研究科(博士前期)  |         | 60    | 120   | 127   |            |
|             | 薬学研究科(博士後期)  |         | 16    | 48    | 9     |            |
|             | 保健医療学研究科(修士) |         | 10    | 20    | 23    |            |
|             | 大学院合計        |         |       |       | 494   |            |
| 医学部附属看護専門学校 |              | 看護学科    | 100   | 300   | 335   |            |
| 診療放射線専門学校   |              | 診療放射線学科 |       |       | 44    | 平成21年度募集停止 |

## 6. 役員の概要

(平成22年3月31日現在)

定員数 理事 10名～13名、監事 2名～3名

| 区 分 | 氏 名    | 常勤・非常勤 | 摘 要                             |
|-----|--------|--------|---------------------------------|
| 理事長 | 小口 勝司  | 常勤     | 平成12年4月1日理事就任<br>平成13年8月1日理事長就任 |
| 理 事 | 細山田 明義 | 常勤     | 平成13年7月28日就任<br>昭和大学長           |
| 理 事 | 安原 一   | 常勤     | 平成19年4月1日就任                     |
| 理 事 | 宮崎 隆   | 常勤     | 平成15年4月1日就任                     |
| 理 事 | 山元 俊憲  | 常勤     | 平成21年3月27日就任                    |
| 理 事 | 副島 和彦  | 常勤     | 平成20年4月1日就任                     |
| 理 事 | 飯島 正文  | 常勤     | 平成16年4月1日就任                     |
| 理 事 | 小出 良平  | 常勤     | 平成12年4月1日就任                     |
| 理 事 | 片桐 敬   | 常勤     | 平成7年4月1日就任                      |
| 理 事 | 佐藤 彰   | 非常勤    | 平成13年5月30日就任                    |
| 理 事 | 吉田 英機  | 非常勤    | 平成20年4月1日就任                     |
| 理 事 | 田口 進   | 常勤     | 平成20年4月1日就任                     |
| 理 事 | 久光 正   | 常勤     | 平成20年4月1日就任                     |
| 監 事 | 宮坂 貞   | 非常勤    | 平成16年4月1日就任                     |
| 監 事 | 小林 節   | 非常勤    | 平成21年5月29日就任                    |
| 監 事 | 甘利 光正  | 非常勤    | 平成16年4月28日就任                    |

## 7. 評議員の概要

(平成22年3月31日現在)

定員数 45名～68名

| 氏 名   | 在任年月  | 主な現職等                    |
|-------|-------|--------------------------|
| 小口 勝司 | 22年7月 | 学校法人昭和大学理事長<br>昭和大学医学部教授 |
| 本間 生夫 | 13年0月 | 昭和大学医学部教授                |
| 安原 一  | 14年0月 | 昭和大学医学部長<br>昭和大学医学部教授    |
| 五味 邦英 | 18年0月 | 昭和大学医学部教授                |
| 飯島 正文 | 8年11月 | 昭和大学病院長<br>昭和大学医学部教授     |
| 小出 良平 | 10年0月 | 昭和大学医学部教授                |
| 諸星 利男 | 5年0月  | 昭和大学医学部教授                |
| 有賀 徹  | 7年0月  | 昭和大学病院副院長<br>昭和大学医学部教授   |

## 2. 法人の概要

| 氏 名    | 在任年月   | 主な現職等                         |
|--------|--------|-------------------------------|
| 足立 満   | 6年0カ月  | 昭和大学医学部教授                     |
| 安本 和正  | 4年0カ月  | 昭和大学医学部附属看護専門学校長<br>昭和大学医学部教授 |
| 岡井 崇   | 3年0カ月  | 昭和大学医学部教授                     |
| 久光 正   | 6年0カ月  | 学校法人昭和大学理事<br>昭和大学医学部教授       |
| 山田 庄司  | 9年0カ月  | 昭和大学歯学部教授                     |
| 立川 哲彦  | 6年0カ月  | 昭和大学歯学部教授                     |
| 久光 久   | 6年0カ月  | 昭和大学歯学部教授                     |
| 吉田 武美  | 5年0カ月  | 昭和大学薬学部教授                     |
| 中村 和郎  | 5年0カ月  | 昭和大学薬学部教授                     |
| 戸部 徹   | 5年0カ月  | 昭和大学薬学部教授                     |
| 高木 利一  | 7年0カ月  | 昭和大学富士吉田教育部教授                 |
| 加納 文晶  | 1年0カ月  | 昭和大学富士吉田教育部教授                 |
| 市川 幾恵  | 4年0カ月  | 昭和大学病院看護部長                    |
| 上野 洋一  | 4年0カ月  | 学校法人昭和大学事務局長                  |
| 守屋 明俊  | 3年0カ月  | 学校法人昭和大学総務部長                  |
| 川澄 正一  | 6年0カ月  | 老人保健明陽苑医師                     |
| 大柵 廣伸  | 14年0カ月 | 中央大柵整形形成外科副院長                 |
| 酒井 朗   | 18年0カ月 | 酒井内科医院院長                      |
| 安井 昭   | 2年0カ月  | 昭和大学名誉教授                      |
| 甲斐 祥生  | 2年0カ月  | 昭和大学名誉教授                      |
| 筒井 廣明  | 10年0カ月 | 昭和大学医学部准教授                    |
| 杉崎 徹三  | 10年0カ月 | 昭和大学名誉教授                      |
| 中島 宏昭  | 24年7カ月 | 昭和大学医学部教授                     |
| 米山 啓一郎 | 2年0カ月  | 昭和大学医学部教授                     |
| 浅賀 英世  | 2年0カ月  | アサカビル（株）代表取締役                 |
| 田中 一正  | 6年0カ月  | 昭和大学富士吉田教育部教授                 |
| 中田 輝夫  | 2年0カ月  | 昭和大学客員教授                      |
| 吉田 文英  | 22年0カ月 | 昭和大学名誉教授                      |
| 湯藤 進   | 14年0カ月 | ゆとうクリニック院長                    |
| 山藤 武久  | 34年4カ月 | （学）昭和医療技術専門学校理事長              |
| 塩原 仁子  | 26年0カ月 | 昭友商事株式会社                      |

## 2. 法人の概要

| 氏 名    | 在任年月    | 主な現職等                                      |
|--------|---------|--------------------------------------------|
| 築野 義則  | 2年0カ月   | タマ生化学（株）顧問                                 |
| 江川 清   | 2年0カ月   |                                            |
| 徳岡 敏一  | 22年7カ月  | 徳岡歯科クリニック院長                                |
| 飯島 裕之  | 18年0カ月  | 飯島歯科医院院長<br>昭和大学歯学部同窓会長                    |
| 大谷 俊一  | 2年0カ月   | 大谷歯科医院院長                                   |
| 細山田 明義 | 13年10カ月 | 昭和大学長                                      |
| 宮崎 隆   | 7年0カ月   | 昭和大学歯学部長<br>昭和大学歯学部教授                      |
| 山元 俊憲  | 18年0カ月  | 昭和大学薬学部長<br>昭和大学薬学部教授                      |
| 副島 和彦  | 6年0カ月   | 昭和大学保健医療学部長<br>昭和大学保健医療学部教授                |
| 真田 裕   | 2年0カ月   | 昭和大学藤が丘病院長<br>昭和大学医学部教授                    |
| 嶽山 陽一  | 3年0カ月   | 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院長<br>昭和大学医学部教授           |
| 松川 正明  | 2年0カ月   | 昭和大学附属豊洲病院長<br>昭和大学医学部教授                   |
| 田口 進   | 7年0カ月   | 昭和大学横浜市北部病院長<br>昭和大学診療放射線専門学校<br>昭和大学医学部教授 |
| 加藤 進昌  | 2年0カ月   | 昭和大学附属烏山病院長<br>昭和大学医学部教授                   |
| 岡野 友宏  | 3年0カ月   | 昭和大学歯科病院長<br>昭和大学歯学部教授                     |
| 石井 暢   | 38年3カ月  | 昭和医療技術専門学校長<br>昭和大学名誉教授                    |
| 鬼塚 卓彌  | 18年0カ月  | 昭和大学名誉教授                                   |
| 高場 利博  | 22年7カ月  | 昭和大学名誉教授                                   |
| 片桐 敬   | 2年0カ月   | 昭和大学富士吉田教育部長<br>昭和大学名誉教授                   |
| 後藤 延一  | 9年0カ月   | 昭和大学歯学部客員教授                                |
| 芳根 鋭蔵  | 2年0カ月   | （株）フジ産業取締役会長                               |
| 塩川 朋義  | 2年0カ月   |                                            |
| 川上 保雄  | 38年3カ月  | 昭和大学名誉学長                                   |
| 上條 千鶴子 | 26年0カ月  |                                            |
| 佐藤 彰   | 8年0カ月   | 小淀診療所所長                                    |
| 松田 厚恵  | 6年0カ月   | 昭和大学医学部客員教授                                |

## 2. 法人の概要

## 8. 教職員の概要

### 1) 教員数

(平成21年5月1日現在)

| 学校・学部等             | 専任教員数 |     |     |     |    |       | 非常勤<br>教員数 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|----|-------|------------|
|                    | 教授    | 准教授 | 講師  | 助教  | 教員 | 合計    |            |
| 医学部                | 20    | 18  | 22  | 27  | —  | 87    | 234        |
| 歯学部                | 9     | 10  | 14  | 24  | —  | 57    | 106        |
| 薬学部                | 20    | 20  | 17  | 36  | —  | 93    | 57         |
| 保健医療学部             | 19    | 14  | 26  | 1   | —  | 60    | 47         |
| 医学部附属看護専門学校        | —     | —   | —   | —   | 21 | 21    | 25         |
| 診療放射線専門学校          | —     | —   | —   | —   | 5  | 5     | 23         |
| 昭和大学病院             | 28    | 33  | 67  | 289 | —  | 417   | 450        |
| 昭和大学病院附属東病院        | —     | —   | —   | —   | —  | —     | —          |
| 昭和大学藤が丘病院          | 16    | 21  | 29  | 142 | —  | 208   | 182        |
| 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 | 1     | 5   | 1   | 13  | —  | 20    | 0          |
| 昭和大学横浜市北部病院        | 17    | 28  | 28  | 142 | —  | 215   | 56         |
| 昭和大学附属豊洲病院         | 3     | 5   | 5   | 16  | —  | 29    | 30         |
| 昭和大学附属烏山病院         | 1     | 2   | 0   | 19  | —  | 22    | 13         |
| 昭和大学豊洲クリニック        | —     | —   | —   | —   | —  | —     | —          |
| 昭和大学歯科病院           | 14    | 16  | 31  | 118 | —  | 179   | 247        |
| 合 計                | 148   | 172 | 240 | 827 | 26 | 1,413 | 1,470      |

### 2) 職員数

(平成21年5月1日現在)

| 学校・学部等             | 事務系 | 教務系 | 厚生<br>補導系 | 技術<br>技能系 | 医療系   | その他 | 本務<br>合計 | 兼務 |
|--------------------|-----|-----|-----------|-----------|-------|-----|----------|----|
| 法人部門               | 26  |     |           |           |       |     | 26       | 0  |
| 昭和大学医学部            | 41  | 13  | 5         | 9         | 0     | 0   | 68       | 0  |
| 昭和大学歯学部            | 38  | 3   | 2         | 2         | 0     | 0   | 45       | 0  |
| 昭和大学薬学部            | 34  | 3   | 4         | 8         | 0     | 0   | 49       | 0  |
| 昭和大学保健医療学部         | 30  | 3   | 3         | 7         | 0     | 0   | 43       | 0  |
| 昭和大学医学部附属看護専門学校    | 4   | 0   | 0         | 0         | 0     | 0   | 4        | 0  |
| 昭和大学診療放射線専門学校      | 2   | 0   | 0         | 0         | 0     | 0   | 2        | 0  |
| 昭和大学病院             | 143 | 14  | 0         | 3         | 1,138 | 0   | 1,298    | 0  |
| 昭和大学病院附属東病院        | 29  | 1   | 0         | 0         | 178   | 0   | 208      | 0  |
| 昭和大学藤が丘病院          | 69  | 4   | 0         | 7         | 770   | 0   | 850      | 0  |
| 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 | 15  | 0   | 0         | 1         | 143   | 0   | 159      | 0  |
| 昭和大学横浜市北部病院        | 41  | 0   | 0         | 0         | 767   | 0   | 808      | 0  |
| 昭和大学附属豊洲病院         | 22  | 0   | 0         | 1         | 144   | 0   | 167      | 0  |
| 昭和大学附属烏山病院         | 19  | 0   | 0         | 3         | 227   | 0   | 249      | 0  |
| 昭和大学豊洲クリニック        | 5   | 0   | 0         | 0         | 14    | 0   | 19       | 0  |
| 昭和大学歯科病院           | 36  | 2   | 0         | 2         | 90    | 0   | 130      | 0  |
| 合 計                | 554 | 43  | 14        | 43        | 3,471 | 0   | 4,125    | 0  |

## 9. 志願者数、合格者数、入学者数（平成21年度入学者）

| 学部・学校名        |              |             | 入学定員数         | 志願者数          | 合格者数        | 入学者数 |
|---------------|--------------|-------------|---------------|---------------|-------------|------|
| 学部            | 医学部          | 医学科         | 120           | 3,434         | 285         | 113  |
|               | 歯学部          | 歯学科         | 105           | 535           | 205         | 99   |
|               | 薬学部 ※6年制     | 薬学科         | 200           | 1,231         | 354         | 209  |
|               | 保健医療学部       | 看護学科        | 95            | 524           | 193         | 104  |
|               |              | (3年次編入学)    | (10)          | (22)          | (12)        | (10) |
|               |              | 理学療法学科      | 30            | 297           | 72          | 34   |
|               |              | 作業療法学科      | 30            | 116           | 68          | 31   |
| 学部合計<br>(編入学) |              | 580<br>(10) | 6,137<br>(22) | 1,177<br>(12) | 590<br>(10) |      |
| 大学院           | 医学研究科        |             | 60            | 50            | 50          | 50   |
|               | 歯学研究科        |             | 18            | 33            | 32          | 32   |
|               | 薬学研究科(博士前期)  |             | 60            | 89            | 82          | 65   |
|               | 薬学研究科(博士後期)  |             | 16            | 3             | 3           | 3    |
|               | 保健医療学研究科(修士) |             | 10            | 9             | 9           | 9    |
|               | 大学院合計        |             | 164           | 184           | 176         | 159  |
| 医学部附属看護専門学校   |              | 看護学科        | 100           | 538           | 174         | 113  |
| 診療放射線専門学校     |              | 診療放射線学科     | 平成21年度募集停止    |               |             |      |

## 10. 卒業・修了者数（平成21年度）

## 1) 学部（平成21年9月卒業者を含む）

| 学部       | 学科     | 卒業者数 |
|----------|--------|------|
| 医学部      | 医学科    | 117  |
| 歯学部      | 歯学科    | 94   |
| 薬学部(4年制) | 薬学科    | 23   |
|          | 生物薬学科  | 14   |
| 保健医療学部   | 看護学科   | 104  |
|          | 理学療法学科 | 37   |
|          | 作業療法学科 | 37   |
| 合 計      |        | 426  |

## 2) 大学院

| 研究科      | 修了者数 |
|----------|------|
| 医学研究科    | 43   |
| 歯学研究科    | 19   |
| 薬学研究科    | 64   |
| 保健医療学研究科 | 12   |
| 合 計      | 138  |

## 3) 附属学校

| 学校名         | 卒業者数 |
|-------------|------|
| 医学部附属看護専門学校 | 109  |
| 診療放射線専門学校   | 20   |

## 2. 法人の概要

### 3. 事業の概要

#### 1. 教育活動

##### 1) 学部

###### ①医学部

医学部では、先進の医学とこころの医学を学ぶことを目標としており、各年次に実習を取り入れたカリキュラムを構築した。

1年次の早期体験実習では、医療・福祉施設の現場の見学や体験学習を実施した。

2年次には昭和大学病院をはじめとする附属病院において、コメディカルの役割、チーム医療の理解を重点においた病院体験実習を行った。

さらに3年次には、診療所の役割や在宅医療の現状や地域に根付いた医療現場を学ぶための地域医療実習を行った。これらのプログラムは、医学生としての自覚を促し、学習に対するモチベーションを高めることに寄与した。

4年次後半には、5年次臨床実習に備え基本的診察技法実習（OSCE）を行い、小人数のグループごとに各分野の専門医師が基本的診察術を指導し、評価とフィードバックを行うことにより資質向上を図った。

5年次の1年間は、昭和大学病院をはじめとする附属病院において臨床実習を行った。各科の指導教授のもと、各分野に精通した経験豊富な指導医が指導にあたった。救急自動車同乗実習では、病院への搬送業務、救急措置など実際の救急医療の現場で実習を行った。

6年次には、1年次から5年次までの総括として、より実践に即した参加型臨床実習を行った。

3年次から4年次には、問題発見能力と問題解決能力の習得を目標に、PBLチュートリアルを積極的に行った。PBLチュートリアルやOSCE、参加型臨床実習など、能動型学習を取り入れることにより、医学生としての自主性や積極性が養われた。

###### ②歯学部

歯学部では、「診療参加型臨床教育」をカリキュラムの柱としており、これに沿って教育内容の充実を図っている。

1年次には、4学部連携PBLでチーム医療の基礎を学んだ後、医療・福祉

### 3. 事業の概要

施設や開業歯科医院での早期体験実習を実施した。

2年次には、医療人としてのコミュニケーションに関する講義・実習によって医療従事者に必要な態度と対話法を学んだ後、保健医療学部での介護基本実習や介護福祉施設での実習に臨んだ。

3年次には、歯科病院での見学実習とともに、医学部附属病院での一般病院実習と地域療育施設での実習を実施した。

4年次には模擬患者（SP）を用いて全身疾患の医療面接を行った。これらの実習は「社会と歯科医療コース」に含まれ、チーム医療の担い手としての自覚や将来の専門職への意識を養う上で役立っている。

また、PBLチュートリアルは、学部連携あるいは、歯学部独自で2年次から4年次に実施しており、自ら学ぶ力を育成する教育が定着している。

4年次後半には、臨床実習に備えた知識・技能・態度の習得のための講義・実習を行い、4年次末の共用試験では全員が合格した。

5年次は、年間を通して歯科病院を中心に臨床実習を行った。各診療科においては、参加型臨床実習を目指して経験豊富な指導医が指導した。5年次末には初めての臨床実習終了時OSCEを実施し、臨床実習における学生の臨床能力の到達度を評価した。

6年次には、選択実習で歯科医師としての視野を広げるとともに、1年次からの学習を総括した。

#### ③薬学部

今年度、新たに実施した6年制4年次カリキュラムは、前期の「総合薬学研究」と後期の「実務実習事前学習」が特徴となっている。「総合薬学研究」では、薬学部だけでなく、医学部と歯学部の基礎講座からも研究テーマを学生に提示した。学生は研究テーマを選択し、薬学部19教室と医学部7教室に分かれて研究に取り組んだ。学生は、各教室の教員から直接的な指導・助言を受けることにより、科学的な方法を用いた問題解決のプロセスを体験し、研究遂行に関する基本的知識・技能・態度を修得した。研究成果は、全員がポスター発表するとともに、論文としてまとめた。

「実務実習事前学習」は、6年制薬学教育において重要な授業科目と位置づけられている。そこで、「実務実習モデル・コアカリキュラム」に準拠するだけでなく、問題解決能力の醸成を目指した本学独自の内容を組み込んで実施した。少人数指導体制により学習効果を高めることができた。

6年制カリキュラムを4年次まで履修した学生は、今年度初めて実施された薬学共用試験（CBT・OSCE）に全員合格した。

なお、4年制カリキュラムの4年次18名は、全員が所定の単位を修得し、本学における4年制薬学教育課程はすべて終了した。

#### ④保健医療学部

平成21年4月から1年次において、新カリキュラムによる教育を開始した。看護学科では保健師助産師看護師学校養成所指定規則等一部改訂に伴い、統合分野に実践応用看護学演習・実習を設定した。理学療法学科および作業療法学科は、過去6年間の教育を見直し、実状に合わせた科目名の設定などを行った。

3年次において、学部連携型PBLチュートリアル教育を行った。教育推進室、PBL委員会と連携を図り、チューターの養成、シナリオ作成、当日の運営方法、評価などについて検討した。また、昨年度に開始した看護学科助産課程の専門科目と助産学実習は、2年間の教育を修了し12名が国家試験受験資格を得た。

シラバス作成においては、授業内容とカリキュラムとの関係に配慮し、記載方法と意義について全教員で検討した。

## 2) 富士吉田教育部

入学時オリエンテーションの際に、学生の学習への動機付けと意欲向上を促すため、選択科目の履修制限の緩和、科目変更を認めるなどの改善を図った。また、英語の習熟度別クラス分けのためのプレイスメントテストを実施した。さらにオリエンテーション期間中に指導担任と指導学生全員との懇談会（昼食会）を実施し、教員と学生相互の親睦を深めるなど、初年次全寮制教育に適応する環境を整備した。

医療人としての「教養」のコア（minimum essence）を構成する4科目「チーム医療の基盤」、「医療人のためのヒューマニズム」、「コミュニケーション」、「健康と運動（スポーツ）の科学」を、新たな学部連携の基礎科目必修として開設した。これに伴い、既存の学部連携型の教養科目選択は週6コマから4コマとした。これらの科目のさらなる充実のために、第3回富士吉田教育部ワークショップを開催した。

早期体験実習の統合を図り、9月には3週間にわたり初の4学部合同の体験実習を実施した。

このほか、履修・未履修の学力差を是正するための「リメディアル教育」を検討した。また今年度から、新たに「総合サイエンス臨床実習」を導入し、1年次の生物・化学・物理を2年次以降の各専門領域に効果的に結び付ける

### 3. 事業の概要

「統合科学」構想（答申）を策定した。

#### 3) 大学院

##### ①医学研究科

必修科目となっている共通科目は、土曜日だけでなく平日の夜も開講することとした。この6単位を入学後2年間で修得するようにカリキュラムにも工夫を施した。限られた時間で集中的に行うため、1単位取得時間数を20時間以上とした。また、そのうち4時間までは関連の研究会、セミナーを当てられるようにした。さらに平成22年度から、この共通科目は昭和大学の医学研究科だけでなく、他の研究科（歯・薬・保健医療）でも選択できるようになった。これにより、医学研究科の学生であっても、他の研究科の教室で単位を修得可能となる。

教育研究指導においては、各附属病院の教員がすべて大学院の教育に参画することとした。それぞれ専門の分野に指導教官として登録された。このことにより、大学院生はどの附属病院においても大学院教育を受けることが可能となり、学生あたりの教員の数は飛躍的に増加した。各単位で学んだ時間は必ず指導教官のサインあるいは印が必要であり、その時間の成績が優、良、可、不可の4段階で評価されるようになった。また各単位修了時には内容の記述と指導教官による評価が行われるようになった。

入学試験においては、外国人が受験する場合に備え、担当教員による面接だけでなく、入試問題も英語で設問するようにする。入試も年2回春と秋に行うべく、調整を行い、平成22年度から実施することを決定した。

終了要件に関しては、学位授与と大学院修了を同時期とすることが決定された。これにより、4年で学位論文が提出されない場合には、単位が30単位以上取れていても修了延期となる。また、3年で30単位以上を取得し、学位論文が提出された場合には大学院を3年で修了することができるようになった。

##### ②歯学研究科

歯学研究科では、近年の歯科医学の急速な進歩拡充に対応すべく、一部の診療科（口腔リハビリテーション科、歯学教育研修センター、歯科医学教室推進室、総合歯科、総合内科）に主科目を開講することとした。これにより、大学院生に一層幅広い研究領域を提供可能となった。

歯学研究科と他研究科との間で一部単位互換を認める方向で検討を進めた結果、歯学研究科は平成22年度から、医学研究科が必修科目として開講

している「共通科目」の受講を認め、その単位を認定することとした。歯学研究科は「共通科目」を選択科目とする。また歯学研究科も「共通科目」を開講し、医学研究科、薬学研究科の大学院生を受け入れることとなった。

平成22年度入試用に本研究科の募集ポスターおよびパンフレットの記載事項を改訂し、配布先を拡大した。また、本学ホームページの「歯学研究科主科目紹介ページ」を改訂するとともに、本研究科の説明会を3回にわたって開催した。

#### ③薬学研究科

平成19～21年度文部科学省大学院教育支援プログラム事業は、最終年度を終えた。本事業によって遂行された「薬剤師の薬学的臨床研究能力養成プログラム」に関する詳細を事業報告書としてまとめた。

医療薬学専攻博士前期課程2年生（35名）による病棟報告会、薬学専攻博士前期課程2年生（27名）による中間発表会をそれぞれ開催した。いずれも活発な質疑応答がなされ有意義な発表会となった。

また、博士後期課程3年生（2名）による論文発表会を開催した。論文審査は指導教員を含まない主査1名、副査4名で行われ、両名ともに合格した。薬学専攻27名、医療薬学専攻35名による修士論文発表会をし、論文審査は指導教員を含まない主査1名、副査2名で行い、全員合格の判定を得た。

薬学部の6年制への移行に伴って大学院入試は博士後期課程についてのみ募集した。

#### ④保健医療学研究科

本研究科は社会人大学院生を積極的に受け入れており、平日の勤務に配慮して土曜日や休日の開講を行った。また、必修共通科目（2科目4単位）を集中講義として開講した。

統計学関連科目の開講希望が多かったことから、今年度後期から医学研究科で開講している医学生物学の統計学的解析法を聴講できるようにした。

### 4) GP事業（大学院GP）

平成19年度から文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」として取り組んできた「薬剤師の薬学的臨床研究能力養成プログラム」は、今年度が最終年度となった。事業規模は3年間で合計7180万円であった。

大学院GPが目的とした、①6年制学部卒業生が将来進学する大学院のカリ

### 3. 事業の概要

キュラム構築、②薬学的臨床研究支援体制の構築（薬学的臨床研究・教育センターの設置）、③海外交流拡大、④シンポジウム、ワークショップ、講習会の開催など、それぞれに着実な成果をもたらすことができた。

薬学研究科は平成24年に4年制博士課程に移行する予定であるが、その際のカリキュラムは大学院GPで構築したものから採用する。また、一部はすでに学部5年生や6年制の科目に活用されている。

また、薬学部では3つの教室を統合して「薬学的臨床研究・教育センター」を設置した。さらに「治療ニーズ探索学」、「医薬品情報学」など5教室に再編し、薬学的臨床研究にアプローチする拠点として機能している。

海外交流については、この3年間で3つの学部間協定校が生まれ、大学院生中心に相互に短期留学が実施されている。

その他、博士後期課程の大学院生を対象にTAを採用し、大学院生の教育参加を創出した。また、これらの活動を推進するため、研究科内に大学院GP推進委員会を設置した。

### 5) F D 活動

#### ①医学部

特色ある教育カリキュラム構築を目的に、医学教育者のためのワークショップを開催した。ビギナーコースでは本学の医学教育における問題点を検討した。さらに「医療面接」、「医学英語入門」、「学部共通の入学時オリエンテーション」について討論した。

アドバンストコースでは「M5臨床実習カリキュラム」、「大学院共通カリキュラムの構築」について討論した。「M5臨床実習カリキュラム」では、見学型臨床実習から診療参加型実習（クリニカルクラークシップ）への移行が検討され、そのプロダクトは平成22年度の実習に導入する。「大学院共通カリキュラムの構築」では、医系総合大学院として4研究科の連携、選択科目の拡充、大学院教育の基盤整備などを検討し、「医系総合科学の研究と倫理」を作成した。「自律的な成長を引き出すコミュニケーション：コーチングを活用したメンタリング」では、講演とともにロールプレイを含めた参加型研修を行い、コミュニケーションスキルの向上を図った。

#### ②歯学部

歯学部のPBLは6年目を迎え、今後より一層充実したPBLチュートリアル教育を実施するため、PBLファシリテータ養成ワークショップを開催した。また、歯科医療研修振興財団の支援を受けて、臨床研修歯科医を指導する

指導医の講習会を開催した。

さらに、文部科学省の「教育・学習方法等改善支援」の補助事業により、臨床実習の主要メンバーを香港大学に派遣し、OSCA (Objective Structured Clinical Assessment) の実際を視察した。

歯学部CBT委員会では、今年度のCBT問題作成にあたり、ワークショップを開催し問題採択率の向上を図った。

#### ③薬学部

平成18年度から毎年実施している薬学部アドバンストワークショップを開催した。今年度のテーマは平成22年度に6年制一期生が5年次に進級することから、「6年制薬学教育5年次生の指導・支援体制の構築」とした。

プログラムは、第一部を「6年制薬学教育5年次生の進路指導・キャリア支援体制の構築」、第二部を「6年制薬学教育5年次生の実務実習指導体制の構築」とした。第一部では、6年制一期生の進路指導とキャリア支援の重要性を参加者全員で認識することができた。また第二部では、5年次実務実習が長期にわたるため、学生の学習を支援するためには担当教員と指導薬剤師の連携が必須であることを確認できた。

さらに本ワークショップでは、4学部合同のグループを設け、昭和大学としての高学年におけるチーム医療学習カリキュラム案を作成した。

#### ④保健医療学部

第5回保健医療学教育者のためのワークショップを実施した。テーマは、ビギナー「医療人としての倫理・態度 カリキュラムプランニング」、アドバンストA「保健医療学部の求める1年次富士吉田教育について」、アドバンストB「臨床実践能力向上のための教育プロジェクト」、大学院「保健医療学研究科の教育理念と教育のあり方ー修士課程と博士課程ー」とした。

また、「CBTとOSCE導入の目的とその後の学生の変化ー医学部からの報告ー」についてのFD講演会も開催した。これからの看護学科、理学療法学科、作業療法学科の教育のあり方について討議した。

#### ⑤富士吉田教育部

学生教育に関する問題点の共有、教育の質的向上ならびに学生・社会のニーズに対応したカリキュラム作りを目指し、教育ワークショップを開催した。「リメディアル教育、初年次選択科目のあり方について」、「総合理科教育のカリキュラムプランニング、教員評価のガイドライン作成、評価票

### 3. 事業の概要

作成」、「オリエンテーションプログラム」のテーマで、幅広い教養教育の履修のために選択科目検討ワークショップを開催した。

さらに、これらの教育の充実をより迅速かつ的確に行うために、現状の問題点や今後の対応に関する方略等の情報共有を目的に、事務職員も参加して実施した。

#### 6) 医学部附属看護専門学校

昨年度に導入した新カリキュラムの検証を行い、問題点の抽出とその改善策について検討した。

また、入学時からの個別学習指導など、きめこまかな取り組みによって、学生全体の学力の底上げが図られた。

#### 7) 診療放射線専門学校

国家試験に関しては、出題基準に準拠した学習指導に加え、既卒者も含めた模擬試験を実施した。

また、2年生に関しては個々の学力向上を図るため、教育内容の充実と学習指導の徹底に努め、全員が最終学年に進級した。

## 2. 研究活動

### 1) 学部・大学院

#### ①医学部・医学研究科

医学部・医学研究科の研究単位は、基礎医学13教室、内科学教室11部門、外科学教室4部門、その他の臨床医学15教室、寄付講座2教室（アンチエイジング寄付講座、臨床感染症学寄付講座）をはじめとして、藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院、横浜市北部病院、豊洲病院、烏山病院の各診療科で構成されている。また、医・歯・薬・保健医療学部の4学部からなる医系総合大学の利点を活かした5つの研究テーマで共同研究を行っている。

医学部・医学研究科における文部科学省科学研究費補助金の採択は、新規分28件、継続23件の合計51件であった。また、「教育研究高度化のための支援体制整備事業」（文部科学省）の一環として、科研費申請促進セミナーを開催した。

#### ②歯学部・歯学研究科

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（ハイテク・リサーチ・センター整備事業）に選定された「顎口腔機能障害の発症機序究明とその機能回復に関する先進的研究」（研究代表者：宮崎隆歯学研究科長）が最終年度を迎え、研究成果発表会を開催し、研究報告書を文部科学省に提出した。さらに、冊子体の「最終報告書」を上梓し、全国の歯学部、歯科大学に送付した。

また、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（文部科学省）に、「デンタルイノベーションを目指した集学的研究拠点形成ーアンチエイジングに貢献する新たな付加価値の創生ー」（研究代表者：宮崎隆歯学研究科長）を申請した。本プロジェクトにより、歯学研究科の多彩な研究を社会的貢献度の高いプロジェクトの基に集約し、アンチエイジングに関する世界的研究拠点形成を目指す。

#### ③薬学部・薬学研究科

平成17年度から21年度までの5年にわたって行ってきたハイテクリサーチ研究「薬物・毒物中毒の先端的研究の基盤構築と治療への応用」により、①薬物・毒物中毒の迅速な診断を支援する新たなデータベースの構築、②脱法ドラッグの鑑別のための新たな分析法の開発、③副作用の大きい血拴溶解剤の効力を高める新規補助薬の発見、など着実かつ社会のニーズに合

### 3. 事業の概要

致した成果が得られた。

昭和大学薬学雑誌を創刊し、薬学研究科および薬学部（6年制）の研究活動とその成果を発信するチャンネルとして機能している。

また、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（文部科学省）に、「新たなバイオマーカー探索を指向した先端的薬学研究」（研究代表者：板部洋之）を申請した。本プロジェクトでは、遺伝子、タンパク質、脂質、薬物代謝産物などの高感度分析技術を支援するバイオマーカー探索センターを構築し、医療に関わる有用なバイオマーカーの探索を目指す。

#### ④保健医療学部・保健医療学研究科

第4回研究発表会を開催し、一般演題として5演題が発表され、活発な議論がなされた。特別講演として歯学部口腔衛生学教室・向井美恵教授による「摂食・嚥下障害への対応－看護師、理学・作業療法士に期待する」と、看護学科・吉尾千世子教授による「老年看護の教育と研究」とした講演を行った。

また、昭和大学保健医療学雑誌第7号を発行した。今年度は服薬指導の基本知識を習得するための論文とがん患者の緩和ケアにおける看護師の役割に関する論文の2編を総説として掲載した。この他、総説、原著、それぞれ1編を掲載した。学部学生の研究意欲向上を目的に、卒業論文も1編掲載した。また、学外からも投稿があり、短報として1編掲載した。

## 2) 研究所・共同施設

### ①腫瘍分子生物學研究所

- ・ PKCとPKCの表皮分化における機能分担

PKCとPKCの表皮分化における機能の異同を、培養ヒト表皮ケラチノサイトと皮膚三次元モデルを用いて解析した。両PKCは共に表皮細胞の増殖停止と分化促進に関与するCキナーゼとして認識されてきたが、最終分化マーカーであるloricrin分子の発現制御においてのみ、相反する作用を示すことを見出した。この作用の違いは、Jun family 遺伝子群の発現パターンの違いに起因することを明らかにした。

- ・ EGFR阻害剤のTRAIL誘導apoptosis増強作用を用いた新規がん治療法の開発

TRAILがEGFRの活性化を誘導するcross talkの分子機構について解析し、TRAILが何らかの機序で細胞表面に接合するEGFR ligandを遊離し、自己分泌的にEGFRを活性化していることを明らかにした。

- ・ 新規抗がん剤ARQ197のMET阻害機構

新規抗がん剤ARQ197のMET阻害の分子機構について解析を行い、ARQ197は特異的にubiquitin/proteasome経路依存的なMET蛋白質のdegradationを促進し、METシグナルを抑制することを明らかにした。

#### ②動物実験施設

施設整備として、実験室または飼育室にマウス・ラットにおける記憶・学習評価のための行動解析装置と摂食・飲水量の測定装置を設置し、洗浄室に動物アレルギー対策用床敷処理キャビネットを設置した。研究支援として、実験動物の飼育管理とともに小動物用CT機器、P2A飼育実験室、遺伝子組換え動物の適正な使用のための補助および助言を行った。また、研究支援体制整備事業の一環として、これまで実験者が行っていたSPF飼育室分の飼育器洗浄を平成21年10月から試験的に行い、実験者の負担軽減、衛生管理面、業務面の効率化を図った。さらに、今年度から小動物飼育における環境エンリッチメント導入のための検討を始めた。

また、動物実験の適正な実施のため、動物実験委員会と協力して動物実験計画書の受付、審査の事前確認、適切な動物実験実施の把握、および動物実験実施者研修会・動物実験実施説明会を開催した。

#### ③1号館RI共同研究室

本研究室は、医・歯学部（基礎系）、薬学部、および腫瘍分子生物学研究所に所属する教職員ならびに学生が研究・教育の目的で利用している。本研究室を利用した放射線業務従事者数に対する、放射性同位元素の使用・保管量の確認、放射線業務従事者の健康診断、教育・訓練および個人被曝線量のモニタリングを行ったが、安全管理上問題は認められなかった。また、文部科学省の通知により、全国の放射線取扱事業所の事業所内に、管理されていない放射性同位元素等がないか確認することが義務付けられた。これに伴い、本研究室においても研究室内の放射性同位元素を確認し、帳簿との照合を行った。

#### ④遺伝子組換え実験室

施設整備として、クラスII安全キャビネット、リアルタイムPCRシステム、及び発光検出器を実験室に設置した。この設置に関連して定量PCRテクニカルセミナー、および発光法を用いたテクニカルセミナーを開催した。トランスジェニックマウス作成4件、胚操作支援（保存、系統維持など）17件の研究支援を行った。さらに、遺伝子組換えマウスを用いた実験の効率化

### 3. 事業の概要

を図るため、Cre-loxPシステムと体外受精法を組み合わせ、実験に必要な時期、匹数に合わせた動物の供給システムの導入の検討を始めた。

実験の安全確保のため、遺伝子組換え実験安全委員会（平成21年10月よりバイオセーフティ委員会）と協力し、病原体等取扱安全管理規程およびバイオセーフティ委員会規則の制定、遺伝子組換え実験安全管理規程の改定を行い、安全管理体制を整備した。

また、動物実験に関する規程を加えた規程集を発行し、実験者への周知を行った。

#### ⑤基礎電子顕微鏡室

文部科学省の教育研究高度化のための支援体制整備事業におけるプロジェクト「人体機能再生のイノベーション創出の支援整備事業」の設備備品として、旗の台校舎1号館5階電子顕微鏡室に島津社製MALDI-TOFMS質量分析装置とアナテック社製二次元電気泳動ゲルピッカー及び電気泳動実験に関連する付属機器の設置を行った。

測定試料を準備するための機器・器具類は、電気泳動実験からゲルの切り出しに至る作製過程を円滑に進められるよう装置の周辺に配置した。また、経験豊富な研究支援スタッフの管理のもと、利用者に試料を作製する手順や画像解析の技術指導を行い、研究の高度化および利便性の向上に努めた。

### 3. 学生支援活動

#### 1) 奨学金

##### ①学校法人昭和大学奨学金

多くの学生を支援するため、平成22年度から募集枠を10人拡大し、38人  
とすることとした。

##### ②昭和大学父兄互助会奨学金

学費の納入が困難な学生への救済措置の一つとして、適切な運営に努め  
た。

##### ③日本学生支援機構奨学金

ポータルサイトや、説明会を活用して奨学金制度の周知に努めた。

##### ④東京都地域医療医師奨学金

この奨学金は、今年度から募集が開始された。本学から推薦した4人は、  
東京都の選考により全員が貸与を受けることができた。

##### ⑤昭和大学大学院奨学金

将来の学術研究を担い得る優秀な人材を育成することを目的として、平  
成22年度からの実施が決まった。返済義務のない奨学金である。

#### 2) キャリア支援

開設2年目となるキャリア支援室では、在学生への個別相談および個別指  
導に重点を置き、各々の進路や就職先に合わせたきめこまかな支援を展開す  
るとともに、卒業生からの再就職等の問い合わせにも対応した。さらに、今  
年度は本学の学生支援活動への取り組み「医療系学生の社会貢献を総合的に  
支援するキャリア支援システム」が、文部科学省の平成21年度「大学教育・  
学生支援推進事業」に選定され、その対象補助事業として次の支援プログラ  
ムを展開した。①キャリア形成教育の一環として、キャリア向上のための講  
演会を全学生対象に5回開催。②薬学生を対象にした合同企業説明会や東京  
大学・千葉大学・北里大学との共催による企業フォーラムの実施。③公務員  
試験対策講座の開講。④就職活動ガイドブックの作成。⑤HP・進路支援シス  
テムの更新など、能動的に学生の進路・就職支援活動の充実を図った。

#### 3) 健康管理

学生の健康管理として最も重要な定期健康診断は、保健管理センターが毎  
年検査項目を見直しつつ充実を図っており、良好な受診率を維持している。

また、臨床実習や臨地実習における感染症対策として、B型肝炎ワクチン  
接種、麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体価検査などを実施している。

### 3. 事業の概要

その他、保健管理センターでは、近年増え続けているメンタルヘルスケアに対しても専門医によるカウンセリングなどを実施している。

#### 4) その他

平成21年度学生指導職員および助教以上の教員を対象に学生生活支援・指導のための教育職員ガイダンスを学部別に7回開催した。参加人数は昨年度に比べ大幅に増加した。

## 4. 国際交流

### 1) 学生の海外の大学における実習・研修

医学部34人、歯学部14人、薬学部9人、保健医療学部3人の計60人の学生が、海外の教育機関において実習・研修を行った。

研修校は、ポートランド州立大学、チューレン大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、南カリフォルニア大学、クィーンズメディカルセンター（以上、米国）、大連医科大学、天津医科大学（以上、中国）、オックスフォード大学（英国）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、フィリピン大学（フィリピン）など学術交流協定校や各学部の教育委員会が認める大学が大半を占めている。

また、医学部、歯学部の6年次に実施している「選択実習」では、医学部8人、歯学部7人が姉妹校等において臨床実習を行った。

学生の海外大学における実習・研修

| 学部     | 受給者数 | 研修先             | 期 間              |
|--------|------|-----------------|------------------|
| 医学部    | 14人  | カリフォルニア大学LA校    | 平成21年6月22日～7月31日 |
|        | 2人   | カリフォルニア大学LA校    | 平成21年4月22日～4月30日 |
|        | 2人   | チューレン大学         | 平成21年3月28日～4月25日 |
|        | 9人   | フィリピン大学         | 平成21年7月31日～8月12日 |
|        | 2人   | クィーンズメディカルセンター  | 平成21年4月2日～5月2日   |
|        | 2人   | ブリティッシュ・コロンビア大学 | 平成21年4月2日～5月2日   |
|        | 1人   | オックスフォード大学      | 平成21年7月21日～7月31日 |
|        | 2人   | ポートランド州立大学      | 平成21年7月21日～8月18日 |
| 歯学部    | 1人   | 南カリフォルニア大学      | 平成21年3月20日～5月24日 |
|        | 2人   | 大連医科大学          | 平成21年4月13日～4月24日 |
|        | 2人   | 天津医科大学          | 平成21年4月11日～4月27日 |
|        | 5人   | ポートランド州立大学      | 平成21年7月21日～8月18日 |
|        | 4人   | ポートランド州立大学      | 平成22年3月14日～3月22日 |
| 薬学部    | 1人   | フィリピン大学         | 平成21年7月31日～8月12日 |
|        | 4人   | ポートランド州立大学      | 平成21年7月21日～8月18日 |
|        | 4人   | ポートランド州立大学      | 平成22年3月14日～3月22日 |
| 保健医療学部 | 2人   | ポートランド州立大学      | 平成21年7月21日～8月18日 |
|        | 1人   | フィリピン大学         | 平成21年7月31日～8月12日 |

### 2) 交流協定の締結状況

平成12年度にローマ大学（イタリア）、カイロ大学（エジプト）、および慶熙大学（韓国）と姉妹校協定を締結して以来、海外大学と学術の交流を深め

### 3. 事業の概要

ている。今年度は、各学部とも海外の有力な大学との提携に積極的に取り組んだ。現在、22校の海外大学と交流を図っている。

交流協定締結状況

| 区分                | 大学名        | 国名      | 提携開始月    |
|-------------------|------------|---------|----------|
| 姉妹校・協定校           | カイロ大学      | エジプト    | 平成12年11月 |
|                   | ローマ大学      | イタリア    | 平成12年11月 |
|                   | 慶熙大学       | 韓国      | 平成12年5月  |
|                   | ポートランド州立大学 | 米国      | 平成20年7月  |
| 学部間協定<br>(医学部)    | チューレン大学    | 米国      | 平成15年7月  |
|                   | ミネソタ大学     | 米国      | 平成16年11月 |
|                   | ウィーン医科大学   | オーストリア  | 平成17年9月  |
|                   | ハワイ大学      | 米国      | 平成18年2月  |
|                   | 天津医科大学     | 中国      | 平成20年8月  |
|                   | フィリピン大学    | フィリピン   | 平成21年7月  |
| 学部間協定<br>(歯学部)    | 大連医科大学     | 中国      | 平成15年12月 |
|                   | 天津医科大学     | 中国      | 平成16年10月 |
|                   | アデレード大学    | オーストラリア | 平成17年3月  |
|                   | 上海交通大学医学院  | 中国      | 平成17年4月  |
|                   | 南カリフォルニア大学 | 米国      | 平成18年2月  |
|                   | チュービンゲン大学  | ドイツ     | 平成18年4月  |
|                   | 台北医科大学     | 台湾      | 平成18年12月 |
|                   | 香港大学       | 中国      | 平成19年2月  |
|                   | トロント大学     | カナダ     | 平成21年9月  |
|                   | モンゴル大学     | モンゴル    | 平成22年3月  |
|                   | 嶺南大学       | 韓国      | 平成19年10月 |
| 学部間協定<br>(薬学部)    | マハサラカム大学   | タイ      | 平成20年8月  |
|                   | オルバニー薬科大学  | 米国      | 平成21年12月 |
| 学部間協定<br>(保健医療学部) | フィリピン大学    | フィリピン   | 平成21年7月  |

### 3) 教員の海外留学、海外出張

今年度の本学教育職員における海外留学は、前年度から6人増の16人であった。留学先は例年のとおり米国が多い。なお、教育職員の留学については身分を保証している。

また、海外出張は新型インフルエンザの影響もあり、昨年度より77人少ない533人であった。

### 3. 事業の概要

海外留学状況（平成21年度）

| 学部等<br>国名 | 講 師 |   |   |   | 助 教 |   |   |   | 助教(員外) |   |   |   | 合 計 |
|-----------|-----|---|---|---|-----|---|---|---|--------|---|---|---|-----|
|           | 医   | 歯 | 薬 | 保 | 医   | 歯 | 薬 | 保 | 医      | 歯 | 薬 | 保 |     |
| 米 国       | 2   |   |   |   | 2   |   |   |   | 1      |   |   |   | 5   |
| イタリア      |     |   |   |   | 2   |   |   |   |        |   |   |   | 2   |
| 英 国       | 1   |   |   |   |     |   | 1 |   |        |   |   |   | 2   |
| スイス       |     |   |   |   | 1   |   |   |   |        |   |   |   | 1   |
| ドイツ       |     |   |   |   | 1   |   |   |   |        |   |   |   | 1   |
| フランス      | 1   |   |   |   |     |   |   |   |        |   |   |   | 1   |
| カナダ       |     |   |   |   |     | 1 |   |   |        |   |   |   | 1   |
| 中 国       |     |   |   |   | 1   |   |   |   |        |   |   |   | 1   |
| シンガポール    |     |   |   |   | 1   |   |   |   |        |   |   |   | 1   |
| オーストラリア   |     |   |   |   |     | 1 |   |   |        |   |   |   | 1   |
| 合 計       | 4   | 0 | 0 | 0 | 8   | 2 | 1 | 0 | 1      | 0 | 0 | 0 | 16  |

海外出張状況（平成21年度）

| 学部<br>目的            |    | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健<br>医療<br>学部 | 教育部 | その他 | 合 計 |
|---------------------|----|-----|-----|-----|----------------|-----|-----|-----|
| 国際会議<br>(学会・シンポジウム) | 出席 | 222 | 11  | 5   | 2              | 1   | 3   | 244 |
|                     | 発表 | 91  | 52  | 8   | 4              |     |     | 155 |
| 調査・研究・討論            |    |     |     | 2   |                |     |     | 2   |
| 共同研究                |    | 1   | 1   |     |                |     |     | 2   |
| 視察(見学・訪問)           |    | 11  | 11  | 6   | 2              | 2   | 2   | 34  |
| 学会・研究の打合せ(検討)       |    | 13  | 2   | 2   |                |     |     | 17  |
| 講義・講演(招待演者)         |    | 21  | 1   |     |                |     |     | 22  |
| 指導(講師)・派遣・診療        |    | 31  |     | 1   |                |     |     | 32  |
| 研修・セミナー             |    | 8   | 5   | 1   | 1              | 1   |     | 16  |
| その他(交流プログラム)        |    | 4   |     |     |                | 1   | 4   | 9   |
| 合 計                 |    | 402 | 83  | 25  | 9              | 5   | 9   | 533 |

※1回の出張で複数の目的がある場合、それぞれ1件として数えた。

#### 4) 外国人研修生・研究生の受け入れ

本学における外国人研修生・研究生の受け入れは、留学生委員会に諮り決定している。今年度は36人が各教室、附属施設で研鑽を積んでおり、出身国の数は前年度より3カ国増え16カ国となり、人数も前年度より5人増加した。

本学では外国人研修生・研究生に対する経済的支援として、奨学金制度（1年を限度として月10万円を支給）を設けている。さらに生活基盤に対する支援策として、外国人研修生宿舎（グリーンキャピタル旗の台）9室、短期留学生、外国人招聘研究者を対象にした宿舎（フラッグ）6室を無償貸与している。

### 3. 事業の概要

外国人研修生・研究生状況

| 国籍 \ 学部 | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健医療学部 | 合計 |
|---------|-----|-----|-----|--------|----|
| 中国      | 7   | 1   |     |        | 8  |
| 米国      | 4   | 3   | 1   |        | 8  |
| セルビア    | 3   |     |     |        | 3  |
| トルコ     | 2   |     |     |        | 2  |
| モンゴル    | 1   | 1   |     |        | 2  |
| インドネシア  |     |     | 2   |        | 2  |
| 韓国      |     |     | 2   |        | 2  |
| 台湾      | 1   |     |     |        | 1  |
| インド     |     | 1   |     |        | 1  |
| ベトナム    | 1   |     |     |        | 1  |
| スペイン    | 1   |     |     |        | 1  |
| ルーマニア   | 1   |     |     |        | 1  |
| フランス    | 1   |     |     |        | 1  |
| ドイツ     | 1   |     |     |        | 1  |
| マレーシア   |     | 1   |     |        | 1  |
| オーストリア  | 1   |     |     |        | 1  |
| 合 計     | 24  | 7   | 5   | 0      | 36 |

外国人研修生・研究生数（過去5年）

|        | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健医療学部 | その他 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|--------|-----|----|
| 平成17年度 | 37  | 4   | 1   |        |     | 42 |
| 平成18年度 | 18  | 7   | 2   |        |     | 27 |
| 平成19年度 | 21  | 4   | 2   |        |     | 27 |
| 平成20年度 | 20  | 8   | 2   |        | 1   | 31 |
| 平成21年度 | 24  | 7   | 5   |        |     | 36 |

## 5. 地域連携

### 1) 公開講座

大学における教育・研究を広く社会に開放し、文化の向上と社会人の教養を高めることを目的に、平成元年度から昭和大学公開講座を開講している。本講座は、医療系総合大学としての特色を活かして「暮らしと健康」をメインテーマとしている。

#### ①旗の台キャンパス

| 実施日    | テーマ                               | 講 師                     |
|--------|-----------------------------------|-------------------------|
| 5月23日  | 病気のときに役立つ脳の構造の話                   | 大塚 成人<br>(医学部第二解剖学・教授)  |
|        | 脳を休める呼吸法                          | 本間 生夫<br>(医学部第二生理学・教授)  |
| 5月30日  | 脳とくすり                             | 中島 雅士<br>(医学部神経内科学・准教授) |
|        | 頭痛の診断と治療:命に関わる頭痛<br>ー脳神経外科疾患を中心にー | 阿部 琢巳<br>(医学部脳神経外科学・教授) |
| 10月17日 | 心の健康・体の健康                         | 蜂須 貢<br>(薬学部臨床精神薬学・教授)  |
|        | お口の健康と脳の働き                        | 馬場 一美<br>(歯学部歯科補綴学・教授)  |
| 10月31日 | 脳機能の最新学説「おしくらまんじゅう」<br>仮説について     | 河村 満<br>(医学部神経内科学・教授)   |
|        | 脳の衰えを防ぐ生活とコミュニケーション               | 芳賀 淳子<br>(昭和大学病院看護部・主任) |

#### ②富士吉田キャンパス

| 実施日    | テーマ                        | 講 師                     |
|--------|----------------------------|-------------------------|
| 5月30日  | 香りを楽しむー香りのサイエンスー           | 稲垣 昌博<br>(富士吉田教育部・准教授)  |
|        | 気をつけよう！身近な毒草               | 磯田 進<br>(薬学部薬用植物園・兼任講師) |
| 10月17日 | くすりとそのリスク<br>ー正しい薬とのつきあい方ー | 倉田 知光<br>(富士吉田教育部・教授)   |
|        | ストレッチングでカラダ楽々              | 堀川 浩之<br>(富士吉田教育部・教授)   |

### 3. 事業の概要

#### ③横浜キャンパス

| 実施日    | テーマ                   | 講師                           |
|--------|-----------------------|------------------------------|
| 10月17日 | 若さを保つには…なぜ運動療法が効果的なのか | 加賀谷 善教<br>(保険医療学部理学療法学科・准教授) |
|        | 実技: バランスボールでリフレッシュ    | 朝比奈 茂<br>(富士吉田教育部・講師)        |

#### ④藤が丘病院

| 実施日    | テーマ                        | 講師                       |
|--------|----------------------------|--------------------------|
| 6月13日  | 白内障                        | 綾木 雅彦<br>(藤が丘病院眼科・准教授)   |
|        | 五十肩                        | 西中 直也<br>(藤が丘病院整形外科・助教)  |
|        | 心筋梗塞                       | 鈴木 洋<br>(藤が丘病院内科循環器・准教授) |
| 10月17日 | いびきかいていませんか<br>ー睡眠時無呼吸症候群ー | 鎌数 清朗<br>(藤が丘病院耳鼻咽喉科・助教) |
|        | うつ病                        | 工藤 行夫<br>(藤が丘病院精神神経科・教授) |
|        | 前立腺肥大と前立腺がん                | 太田 道也<br>(藤が丘病院泌尿器科・講師)  |

#### ⑤藤が丘リハビリテーション病院

| 実施日   | テーマ               | 講師                               |
|-------|-------------------|----------------------------------|
| 6月20日 | 上肢 ー診断と治療ー        | 三原 研一<br>(藤が丘リハビリテーション病院整形外科・講師) |
|       | 下肢 ー診断と治療ー        | 中田 規之<br>(藤が丘リハビリテーション病院整形外科・助教) |
|       | 上肢 ーリハビリテーションと治療ー | 嘉陽 拓<br>(藤が丘リハビリテーション病院・理学療法士)   |
|       | 下肢 ーリハビリテーションと治療ー | 島田 周輔<br>(藤が丘リハビリテーション病院・理学療法士)  |

## ⑥横浜市北部病院

| 実施日    | テーマ                       | 講 師                         |
|--------|---------------------------|-----------------------------|
| 5月16日  | がんの薬物治療－最近の進歩－            | 嶋田 顕<br>(北部病院内科・講師)         |
|        | メンタルサポート<br>－精神症状への対応と理解－ | 富岡 大<br>(北部病院メンタルケアセンター・助教) |
| 10月24日 | 放射線治療（最新の放射線治療）           | 馳澤 憲二<br>(北部病院放射線科・准教授)     |
|        | 内視鏡治療<br>(消化器内視鏡によるがん治療)  | 大塚 和朗<br>(北部病院消化器センター・准教授)  |

## ⑦豊洲病院・豊洲クリニック

| 実施日   | テーマ                  | 講 師                   |
|-------|----------------------|-----------------------|
| 12月5日 | しっかり手を洗ってますか？        | 椎葉 典子<br>(豊洲病院看護部・次長) |
|       | これからの新型インフルエンザ対策について | 桂 隆志<br>(豊洲病院内科・准教授)  |

## ⑧烏山病院

| 実施日    | テーマ                          | 講 師                     |
|--------|------------------------------|-------------------------|
| 6月6日   | 「大人のアスペルガー症候群」との接し方          | 加藤 進昌<br>(烏山病院精神医学・教授)  |
| 10月31日 | 精神鑑定と司法精神医療<br>「精神鑑定－現状と問題点」 | 井原 裕<br>(獨協医科大学越谷病院・教授) |

## ⑨歯科病院

| 実施日   | テーマ                 | 講 師                       |
|-------|---------------------|---------------------------|
| 7月11日 | 日常生活に潜む健康リスクとしての歯周病 | 山本 松男<br>(歯学部歯周病学・教授)     |
|       |                     | 須田 玲子<br>(歯学部歯周病学・講師)     |
|       |                     | 小出 容子<br>(歯学部歯周病学・助教)     |
|       | 歯科からの食育支援           | 井上美津子<br>(歯学部小児成育歯科学・教授)  |
|       | 健口体操                | 柴田 由美<br>(歯科病院歯科衛生士・主任補佐) |

### 3. 事業の概要

## 6. 施設設備の整備状況

### 1) 施設整備

#### ①昭和大学病院

(中央棟)

- ・医療ガス機械室メディカルピュアパック整備工事
- ・防災センター防災盤部品交換工事
- ・受変電設備定期点検（計画停電）

(入院棟)

- ・4・9・10階ナースステーション内エアコン更新工事
- ・コンセント盤増設・幹線工事（奇数階病棟）
- ・駐車場管制システム更新工事（中・入院棟）

#### ②昭和大学病院附属東病院

- ・5階病棟浴室改修工事
- ・1階・3～6階南側熱線遮断フィルム貼付工事
- ・5・6階病棟ファンコイルオーバーホール工事

#### ③藤が丘病院

- ・第2手術室及び前室床改修工事
- ・AHU4（空調設備）更新工事
- ・吸収式冷温水発生機点検

#### ④藤が丘リハビリテーション病院

- ・薬局移転内装工事
- ・G階運動療法室室内塗装工事
- ・手術室電灯弱電設備改修工事

#### ⑤横浜市北部病院

- ・薬局内装工事
- ・血液浄化センター洗面台増設工事
- ・西棟駐車場用車路改修工事

#### ⑥豊洲病院

- ・入院棟2階自動ドア改修工事
- ・入院棟エアコン圧縮機交換工事
- ・入院棟空調機洗浄工事
- ・消火栓ポンプ等点検整備工事
- ・患者監視装置アンテナ改修工事

#### ⑦烏山病院

- ・中央棟キュービクル改修工事

- ・ 中央棟 1 階エントランスガラス熱線遮熱フィルム貼付工事
- ・ C 4 病棟個室窓熱線遮熱フィルム貼付工事

⑧ 豊洲クリニック

- ・ 空調フィルター洗浄及び交換工事
- ・ 受水槽清掃

⑨ 歯科病院

- ・ 1 号棟 4 階外来改修工事
- ・ 1 号棟地下 2 階監視室アスベスト除去工事
- ・ 1 号棟地下 2 階監視室吹付けアスベスト除去
- ・ 1 号棟外壁改修工事
- ・ 1 号棟地下 1 階SPD導入に伴う改修工事

⑩ 旗の台キャンパス

- ・ 大学 1 号館秘書課空調機更新工事
- ・ 大学 1 号館PAC 5（空調設備）更新工事
- ・ 大学 4・5 号館耐震診断

⑪ 富士吉田キャンパス

- ・ ボイラーフット弁更新工事
- ・ エネルギー棟排煙装置改修工事
- ・ 部室棟排煙装置改修工事

2) 設備整備

① 豊洲病院

- ・ 中央検査室検査機器の更新  
全自動免疫生化学装置、発光免疫測定装置、多項目血球計数装置、便潜血測定装置
- ・ 患者監視装置の更新
- ・ 医事コンピュータサーバの更新

② 豊洲クリニック

- ・ 屈折矯正測定機の更新
- ・ UPSバッテリー（電子カルテシステム停電時対応）の更新

③ 歯科病院

- ・ 1 号棟屋上高架水槽更新工事

### 3. 事業の概要

#### 3) 図書の整備

外国雑誌、特に一部大手出版社の電子ジャーナルの高騰が続く中、必要な図書等の資料を整備、維持するために、経費節減につながるよう一部タイトルの印刷版の購読を中止し、電子化をさらに進めた。今年度に関しては、約30タイトルの外国雑誌を電子化することで値上がり分を解消した。経費を増すことなく実質的な利用可能タイトルを維持、確保するとともに、アクセシ性を向上させたもので、資料の整備面で改善といえる。それを土台として、需要が見込まれる新規電子ジャーナルの購読や、データベースのアクセス数追加による利便性向上も図った。また、電子化には収納スペース対策の側面もあって、将来的な設備の増大を抑制する効果も期待できるため、所定の予算の運用の範囲内で、印刷媒体の図書からの切替えにより、電子ブックの整備にも着手した。

#### 蔵書

|          | 図書の冊数(冊) |              | 定期刊行物(種類) |       | 視聴覚資料<br>(点) | 電子ブック<br>(種類) | 電子ジャーナル<br>(種類) | データベース<br>(種類) |
|----------|----------|--------------|-----------|-------|--------------|---------------|-----------------|----------------|
|          | 図書       | 開架図書<br>(内数) | 内国書       | 外国書   |              |               |                 |                |
| 本 館      | 234,276  | 206,700      | 2,246     | 2,320 | 335          | 87            | 4,210           | 8              |
| 藤が丘病院分室  | 21,668   | 21,409       | 136       | 320   | 4            |               |                 | 7              |
| 歯科病院分室   | 15,204   | ※            | ※         | ※     | 39           |               |                 | 8              |
| 富士吉田校舎分室 | 38,802   | ※            | ※         | ※     | 167          |               |                 | 5              |
| 合 計      | 309,950  | 228,109      | 2,382     | 2,640 | 545          | 87            | 4,210           | -              |

※は本館に含む

## 4. 財務の概要

### 1. 決算の概要

#### 1) 貸借対照表の状況

平成22年3月31日現在の財産状況を示します。固定資産（土地・建物・機器備品・特定預金他）と流動資産（現金預金・未収入金他）の資産の部合計は1776億1100万円で、前年度末と比べて34億9300万円の増です。

主な要因は、固定資産において土地がCサイト整備計画による旗の台校舎近隣地購入や富士吉田校舎近隣地購入等により30億5400万円の増、建設仮勘定が新豊洲病院看護師寮用地購入に係る手付金や仲介手数料等により4億7000万円の増、退職給与引当特定資産が2億円の増となっています。

また、既存の建物・機器備品等の減価償却額64億9400万円が前年度簿価より減少しております。流動資産においては、現金預金が20億3500万円の増となっています。

一方、固定負債（長期借入金・学校債他）と流動負債（次年度借入金返済金）の負債の部合計は530億7000万円で、前年度末に比べて15億5500万円増加しました。

主な要因は、新豊洲病院職員寮の用地購入資金として日本私立学校振興・共済事業団から30億円の借入れを行ったことによるものです。

資産の部の合計から負債の部の合計を差し引いた「正味財産」は1245億4100万円で、前年度より19億3800万円増加しました。

#### 2) 収支計算書の状況

消費収入の部合計は787億7800万円で、基本金組入額77億1700万円を除く帰属収入合計は864億9500万円となります。予算対比で5億9300万円（0.68%）の減、前年度対比で9億6000万円（1.12%）の増となっています。

予算と比べて、学生生徒等納付金が3億2000万円（3.31%）の増、事業収入が1億2800万円（15.51%）の増となっていますが、医療収入は6億7600万円（1.00%）の減、補助金が2億7600万円（4.72%）の減、資産運用収入は1億1300万円（10.56%）の減となっています。

前年度と比べると、医療収入が14億6800万円（2.25%）の増となっていますが、補助金は1億5300万円（2.68%）の減、資産運用収入は3億8500万円（28.71%）の減となっています。

#### 4. 財務の概要

学生生徒等納付金では、診療放射線専門学校が平成22年度の閉校に向けて漸減しています。

医療収入では、横浜市北部病院、豊洲クリニック、歯科病院で予算額を達成しています。

一方、消費支出の部合計は845億5700万円で、予算対比で17億9500万円（2.08％）の減、前年度対比で5億4400万円（0.65％）の増となっています。

予算と比べて、人件費は3億4900万円（0.85％）の減、教育研究経費は15億100万円（3.65％）の減、管理経費は2000万円（0.66％）の増となっています。

前年度と比べると、人件費は15億6600万円（3.98％）の増、教育研究経費は4億6500万円（1.16％）の減、管理経費は1億2700万円（4.43％）の増となっています。

直接医療経費の合計額は医療収入比31.65％で、予算対比で9億1000万円（4.50％）の増、前年度対比で5億5100万円（2.68％）の増となっています。

帰属収支差額では、19億3800万円の収入超過となりましたが、前年度と比較しますと、前年度は15億2200万円の収入超過でしたので、4億1600万円の増益となります。

消費収入から消費支出を引いた消費収支差額は、57億7900万円の支出超過となります。

## 2. 経年比較

## 1) 貸借対照表

(単位：千円)

|                          | 平成17年度末     | 平成18年度末     | 平成19年度末     | 平成20年度末     | 平成21年度末     |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 固定資産                     | 137,330,321 | 138,326,440 | 139,128,497 | 138,593,258 | 139,414,458 |
| 流動資産                     | 29,920,232  | 34,011,897  | 33,960,371  | 35,524,506  | 38,196,690  |
| 資産の部合計                   | 167,250,553 | 172,338,337 | 173,088,868 | 174,117,764 | 177,611,148 |
| 固定負債                     | 43,099,506  | 41,869,603  | 40,149,246  | 38,893,768  | 40,489,522  |
| 流動負債                     | 7,472,229   | 12,071,300  | 11,859,482  | 12,621,600  | 12,580,857  |
| 負債の部合計                   | 50,571,735  | 53,940,903  | 52,008,728  | 51,515,368  | 53,070,379  |
| 基本金の部合計                  | 178,723,656 | 181,980,698 | 184,666,285 | 192,196,217 | 199,913,789 |
| 消費収支差額の部合計               | △62,044,838 | △63,583,264 | △63,586,144 | △69,593,821 | △75,373,020 |
| 負債の部、基本金及び<br>消費収支差額の部合計 | 167,250,553 | 172,338,337 | 173,088,869 | 174,117,764 | 177,611,148 |

#### 4. 財務の概要

##### 2) 収支計算書

###### ア) 資金収支計算書

(単位：千円)

| 収入の部       | 平成17年度末     | 平成18年度末     | 平成19年度末     | 平成20年度末     | 平成21年度末     |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 10,040,890  | 10,004,590  | 10,019,390  | 10,046,010  | 10,001,900  |
| 手数料収入      | 346,256     | 371,465     | 387,960     | 363,173     | 423,453     |
| 医療収入       | 64,765,393  | 64,676,020  | 66,149,536  | 65,299,224  | 66,767,399  |
| 寄付金収入      | 926,434     | 1,028,969   | 1,067,160   | 1,143,552   | 1,102,726   |
| 補助金収入      | 5,508,165   | 5,096,596   | 5,228,289   | 5,715,187   | 5,562,001   |
| 資産運用収入     | 963,022     | 1,140,241   | 1,629,148   | 1,339,953   | 955,201     |
| 資産売却収入     | 0           | 1,686,000   | 320,332     | 600,520     | 63,156      |
| 事業収入       | 833,888     | 758,204     | 804,259     | 948,268     | 949,820     |
| 雑収入        | 656,566     | 945,896     | 645,603     | 629,133     | 686,262     |
| 借入金等収入     | 171,100     | 105,000     | 0           | 0           | 3,000,000   |
| 前受金収入      | 2,876,870   | 2,985,462   | 2,866,709   | 2,771,211   | 2,723,806   |
| その他収入      | 12,028,584  | 12,045,600  | 12,455,701  | 12,304,796  | 14,776,079  |
| 資金収入調整勘定   | △13,763,440 | △13,562,333 | △14,141,236 | △14,110,736 | △14,803,428 |
| 前年度繰越支払資金  | 27,906,883  | 18,322,573  | 22,749,568  | 22,387,390  | 23,779,810  |
| 収入の部合計     | 113,260,611 | 105,604,283 | 110,172,419 | 109,437,681 | 115,988,185 |

| 支出の部      | 平成17年度末     | 平成18年度末     | 平成19年度末     | 平成20年度末     | 平成21年度末     |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 人件費支出     | 38,165,687  | 38,389,453  | 39,252,557  | 39,084,640  | 40,707,430  |
| 教育研究経費支出  | 32,628,590  | 32,943,383  | 32,876,805  | 33,285,059  | 33,489,385  |
| 管理経費支出    | 2,480,792   | 2,479,207   | 2,351,777   | 2,400,043   | 2,619,443   |
| 借入金等利息支出  | 975,816     | 833,145     | 846,237     | 791,694     | 741,589     |
| 借入金等返済支出  | 8,275,660   | 1,866,556   | 1,920,626   | 1,892,904   | 1,569,040   |
| 施設関係支出    | 3,174,115   | 2,653,519   | 1,575,452   | 2,985,640   | 4,559,543   |
| 設備関係支出    | 3,253,360   | 3,786,085   | 2,331,838   | 3,866,464   | 2,991,088   |
| 資産運用支出    | 1,529,939   | 3,917,685   | 6,337,557   | 2,258,928   | 3,254,875   |
| その他の支出    | 6,555,932   | 2,418,099   | 6,687,580   | 6,613,739   | 7,717,288   |
| 資金支出調整勘定  | △2,101,853  | △6,432,417  | △6,395,400  | △7,521,240  | △7,476,504  |
| 次年度繰越支払資金 | 18,322,573  | 22,749,568  | 22,387,390  | 23,779,810  | 25,815,008  |
| 支出の部合計    | 113,260,611 | 105,604,283 | 110,172,419 | 109,437,681 | 115,988,185 |

#### 4. 財務の概要

##### イ) 消費収支計算書

(単位：千円)

| 消費収入の部   | 平成17年度末    | 平成18年度末    | 平成19年度末    | 平成20年度末    | 平成21年度末    |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 学生生徒等納付金 | 10,040,890 | 10,004,590 | 10,019,390 | 10,046,010 | 10,001,900 |
| 手数料      | 346,256    | 371,465    | 387,961    | 363,173    | 423,453    |
| 医療収入     | 64,765,393 | 64,676,020 | 66,149,536 | 65,299,224 | 66,767,399 |
| 寄付金      | 980,754    | 1,104,765  | 1,131,549  | 1,188,454  | 1,149,017  |
| 補助金      | 5,508,165  | 5,096,596  | 5,228,289  | 5,715,187  | 5,562,001  |
| 資産運用収入   | 963,022    | 1,140,241  | 1,629,148  | 1,339,953  | 955,201    |
| 資産売却差額   | 0          | 240,621    | 0          | 158        | 0          |
| 事業収入     | 833,888    | 758,204    | 804,259    | 948,268    | 949,820    |
| 雑収入      | 667,253    | 952,168    | 654,872    | 634,569    | 686,546    |
| 帰属収入合計   | 84,105,621 | 84,344,670 | 86,005,004 | 85,534,996 | 86,495,337 |
| 基本金組入額合計 | △9,370,473 | △3,257,042 | △2,685,586 | △7,529,932 | △7,717,572 |
| 消費収入の部合計 | 74,735,148 | 81,087,628 | 83,319,418 | 78,005,064 | 78,777,765 |

| 消費支出の部       | 平成17年度末    | 平成18年度末    | 平成19年度末    | 平成20年度末    | 平成21年度末    |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費          | 38,773,638 | 38,917,340 | 39,451,132 | 39,366,208 | 40,932,435 |
| 教育研究経費       | 38,974,917 | 39,453,719 | 39,844,057 | 40,110,113 | 39,645,221 |
| 管理経費         | 3,077,051  | 3,069,338  | 2,828,396  | 2,867,686  | 2,994,660  |
| 借入金等利息       | 975,816    | 833,145    | 846,237    | 791,694    | 741,589    |
| 資産処分差額       | 200,561    | 304,457    | 249,797    | 790,422    | 132,889    |
| 徴収不能引当金繰入額   | 67,217     | 48,055     | 102,679    | 86,618     | 110,170    |
| 消費支出の部合計     | 82,069,200 | 82,626,054 | 83,322,298 | 84,012,741 | 84,556,964 |
| 当年度消費支出超過額   | 7,334,052  | 1,538,426  | 2,880      | 6,007,677  | 5,779,199  |
| 前年度繰越消費収支超過額 | 54,710,786 | 62,044,838 | 63,583,264 | 63,586,144 | 69,593,821 |
| 基本金取崩額       | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 翌年度繰越消費収支超過額 | 62,044,838 | 63,583,264 | 63,586,144 | 69,593,821 | 75,373,020 |

#### 4. 財務の概要

### 3. 主な財務比率比較

(単位：％)

| 比 率 名      | 算 式                                           | H17年度末 | H18年度末 | H19年度末 | H20年度末 | H21年度末 |
|------------|-----------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 帰属収支差額比率   | $\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$ | 2.4%   | 2.0%   | 3.1%   | 1.8%   | 2.2%   |
| 消費収支比率     | $\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$             | 109.8% | 101.9% | 100.0% | 107.7% | 107.3% |
| 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$         | 11.9%  | 11.9%  | 11.6%  | 11.7%  | 11.6%  |
| 人件費比率      | $\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$              | 46.1%  | 46.1%  | 45.9%  | 46.0%  | 47.3%  |
| 教育研究経費比率   | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$           | 46.3%  | 46.8%  | 46.3%  | 46.9%  | 45.8%  |
| 管理経費比率     | $\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$             | 3.7%   | 3.6%   | 3.3%   | 3.4%   | 3.5%   |
| 流動比率       | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$             | 400.4% | 281.8% | 286.4% | 281.5% | 303.6% |
| 負債比率       | $\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金 ※1}}$           | 43.3%  | 45.6%  | 43.0%  | 42.0%  | 42.6%  |
| 自己資金構成比率   | $\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金 ※2}}$           | 69.8%  | 68.7%  | 70.0%  | 70.4%  | 70.1%  |
| 基本金比率      | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$           | 87.4%  | 87.7%  | 88.9%  | 90.2%  | 91.3%  |

※ 1 自己資金＝基本金＋消費支出差額

※ 2 総 資 金＝負債＋基本金＋消費支出差額

## 4. その他

## 1) 借入金の状況

| 借入先            | 借入残高            | 利 率                 | 返済期限    | 担保等              |
|----------------|-----------------|---------------------|---------|------------------|
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 3,028,280,000円  | 1.3%                | 平成32年3月 | 保健医療学部土地、建物ほか    |
| 福祉医療機構         | 5,062,030,000円  | 1.8%                | 平成35年5月 | 横浜市北部病院建物        |
| 二次協調融資団        | 15,516,470,000円 | 3.995%<br>(平成25年まで) | 平成38年2月 | 旗の台校舎土地、昭和大学病院土地 |
| 合 計            | 23,606,780,000円 |                     |         |                  |

## 2) 学校債の状況

| 発行年度   | 平成21年度末残高      | 利 率 | 償還期限   | 摘 要 |
|--------|----------------|-----|--------|-----|
| 平成12年度 | 243,000,000円   | 0%  | 平成22年度 |     |
| 平成13年度 | 159,000,000円   | 0%  | 平成23年度 |     |
| 平成14年度 | 205,000,000円   | 0%  | 平成24年度 |     |
| 平成15年度 | 251,000,000円   | 0%  | 平成25年度 |     |
| 平成16年度 | 188,000,000円   | 0%  | 平成26年度 |     |
| 平成17年度 | 121,000,000円   | 0%  | 平成27年度 |     |
| 平成18年度 | 105,000,000円   | 0%  | 平成28年度 |     |
| 合計     | 1,272,000,000円 |     |        |     |

※学校債の募集は平成18年度で終了

## 3) 寄付金の状況

| 寄付金の種類           | 寄付者             | 金 額          | 摘 要 |
|------------------|-----------------|--------------|-----|
| 一般寄付金            | 父兄              | 200,600,000円 |     |
| 富士吉田校舎教育施設整備事業募金 | 一般、教職員、同窓生、父兄ほか | 39,106,000円  |     |

## 4. 財務の概要

### 4) 補助金の状況

平成21年度の私立大学等経常費補助金交付額は36億7768万円と昨年度比6億2814万円減であった。これは平成19・20年度申請内容の見直しにより過年度調整を行ったことと併せて特別補助の交付額の圧縮率が85%となったことによる。

また、大学活性化プロジェクトの一環として競争型外部資金の導入に積極的に取り組んでおり、平成21年度は「教育研究高度化のための支援体制整備事業」2億2236万円、「大学教育・学生支援推進事業」2件で3500万円などが新規に獲得できた。さらに、「私立学校教育研究装置施設整備費」並びに「私立大学等研究設備等整備費」は「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」分の申請と合わせてすべての申請が採択され2億3285万円の交付を受けることができた。

### 5) 関連当事者等との取引の状況

#### ア) 関連当事者

| 会社等の名称         | 資本金等     | 出資割合 | 取引の内容      | 摘 要                              |
|----------------|----------|------|------------|----------------------------------|
| 昭和大学<br>生活協同組合 | 53,498千円 |      | 施設賃貸、物品購入等 | 当法人の教職員が昭和大学生活協同組合の理事の過半数を占めている。 |

#### イ) 出資会社

| 会社等の名称       | 事業内容                  | 資本金等     | 出資割合 | 取引の内容               | 保証債務等            |
|--------------|-----------------------|----------|------|---------------------|------------------|
| 昭友商事<br>株式会社 | 大学及び病院施設・<br>設備の管理業務他 | 10,000千円 | 100% | 施設賃貸、物品購<br>入・業務委託等 | 債務保証を行<br>っていない。 |

平成21年度  
学校法人昭和大学事業報告書

|     |                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 発 行 | 学校法人 昭和大学<br>〒142-8555<br>東京都品川区旗の台1-5-8<br>TEL. 03-3784-8000（代表） |
| 発行日 | 平成22年5月28日                                                        |
| 事務局 | 総務部総務課<br>TEL. 03-3784-8011<br>FAX. 03-3484-8012                  |
| 印 刷 | 勝美印刷株式会社                                                          |

